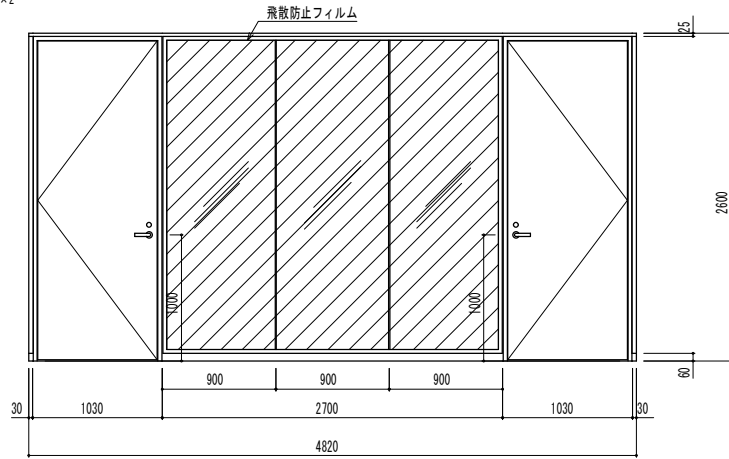
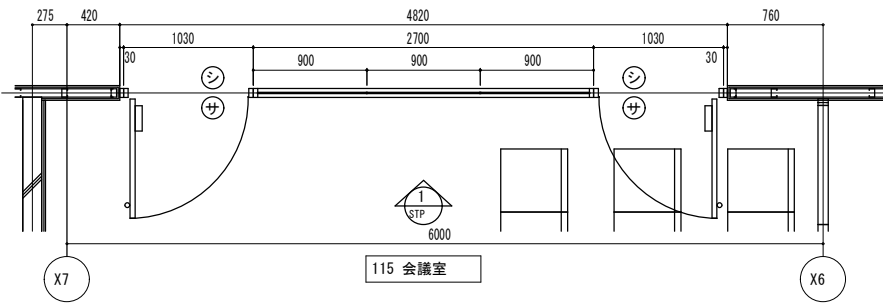


1 STP 全ガラス：フロート 10t ビード押え x2

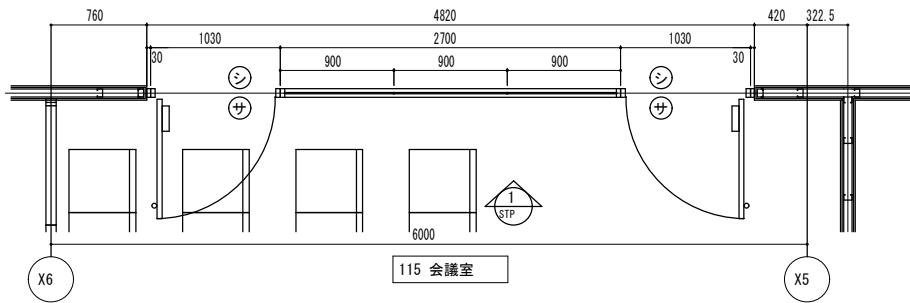


125 廊下

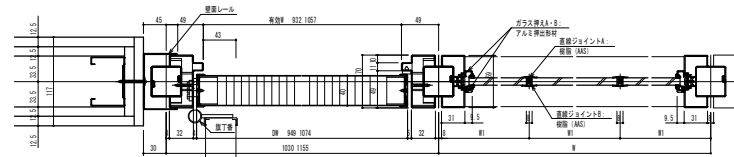
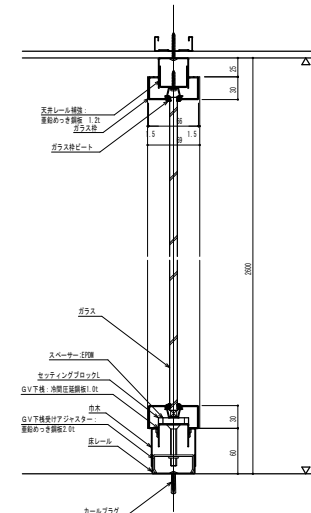
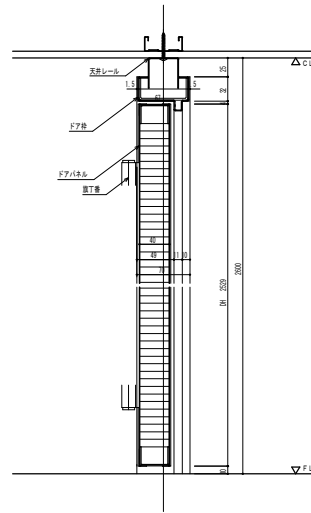


115 会議室

125 廊下



115 会議室

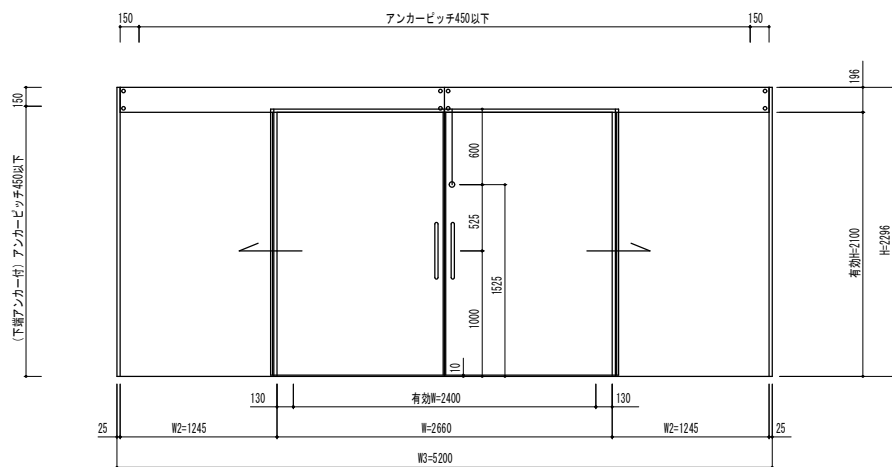


◇仕様表 (冷転ワール マイチーフ0既等品)

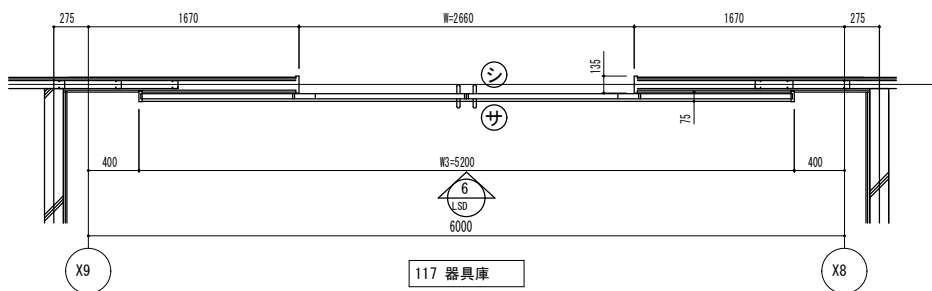
項目	部材	材料 (単位mm)
骨材	天吊レール	冷転圧縮鋼板 1.0mm (指定色焼付塗装仕上)
	壁取レール	冷転圧縮鋼板 0.8mm (指定色焼付塗装仕上)
	底レール	冷転圧縮鋼板 0.8mm (指定色焼付塗装仕上)
枠	中本	冷転圧縮鋼板 0.8mm (指定色焼付塗装仕上)
	ボール(固定)	冷転圧縮鋼板 1.0mm (指定色焼付塗装仕上)
	上横・下横	冷転圧縮鋼板 1.0mm (指定色焼付塗装仕上)
	下横・開口枠	冷転圧縮鋼板 1.2mm (指定色焼付塗装仕上)
	ガラス枠	アルミ押込形材 (指定色焼付塗装仕上)
開弁戸	ガラス枠ビード	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3+0.3mm (フレール色)
	ガラス取付ジョイント	樹脂 対応ガラス厚10mm (非透明色)
	パネル裏面材	裏面めっき鋼板 0.5mm (指定色焼付塗装仕上)
	芯材	ペーパーコア
閉弁戸	扉板	アルミ押込形材 (指定色焼付塗装仕上)
	ロック	樹脂 L1型/ボール L1型
	ドアローザ	ニュースター-F5100/リョービ 25P14
	下横	鋼下横(ステンレス)4級系
	戸当り	扉付戸当り

※焼付塗装はメラミン樹脂焼付塗装とする

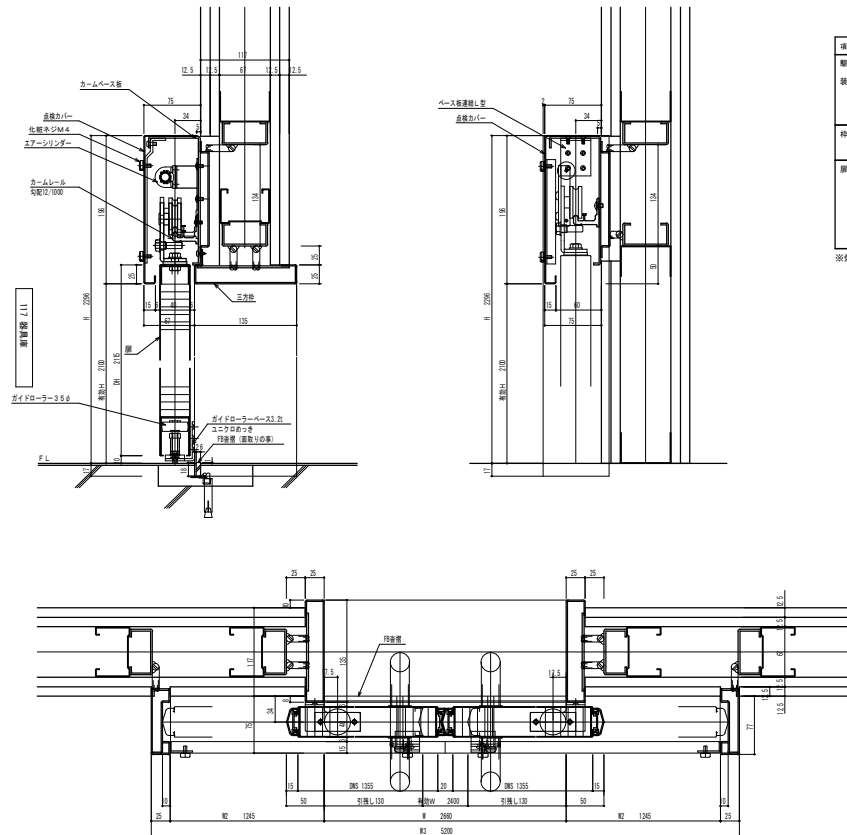
6 LSD	内観	名称	仕上	表面処理	色番号
	1	控	SOP塗装当社工事外	防錆	KWクレー4S
	箇所	点検パネル	焼付塗装		
	扉	扉	焼付塗装		
タイプ					
外付け枠					
引手					
ユニオン65602-S71S-(ステンミラー+カラー取手)					
φ=25 L=450					
ストッパー					
小松標準品					
ロック					
カムロック MIWA POSTE(上)					
窓番					
FB ステンレス6X18(HL)					
自閉機構					
傾斜式					
扉表面材					
垂鉛めっき鋼板0.6t					
扉芯材					
ペーパーコア					
備考					
フロントゴム色:ブラック					



125 廊下



117 器具庫



117 器具庫

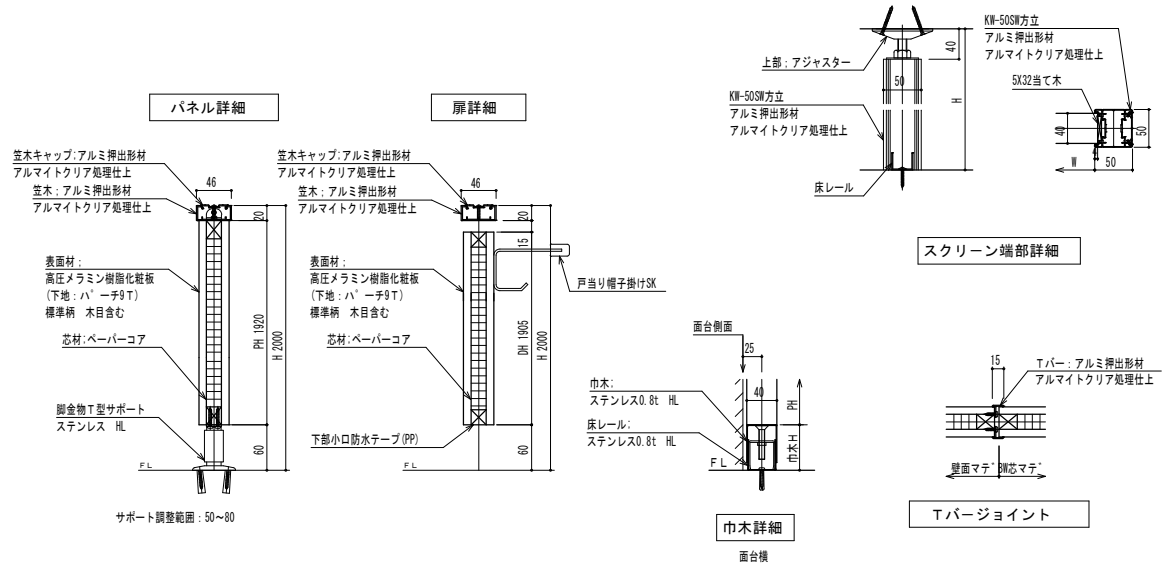
◇仕様表

(小松カナル カムドア付外付けタイプ標準品)

項目	部材	材料(標準mm)
駆動	駆動方式	傾斜レール 傾斜調整エアダンパ
	カムベス板	垂鉛めっき鋼板 2.0t (指定塗装仕上)
	カムレール	アルミ押出型材 (アルミイト既製仕上)
	ハンガー等	樹脂製等 ブラケットはめこき仕上
枠	先付け枠	垂鉛めっき鋼板 1.5t (指定色指定塗装仕上)
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2t (指定色焼付塗装仕上)
扉	パネル裏材	垂鉛めっき鋼板 0.6t (指定色焼付塗装仕上)
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	赤リチンゴム (ブラック色)
	ロック	実形 70015型 ゴールド錠
取手	ユニオン65602-S71S-カラー取手 φ25 L=450	

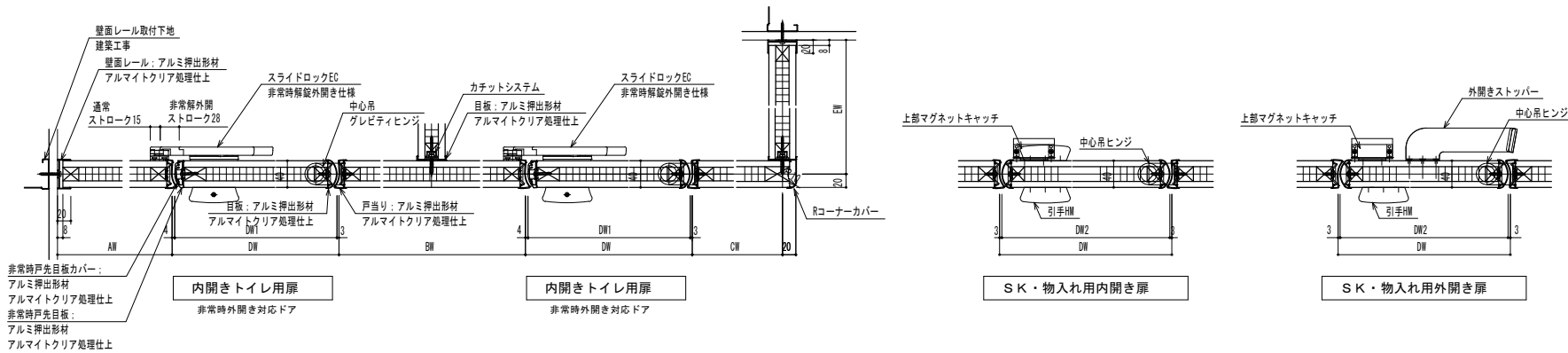
※焼付塗装はメラミン樹脂焼付塗装とする

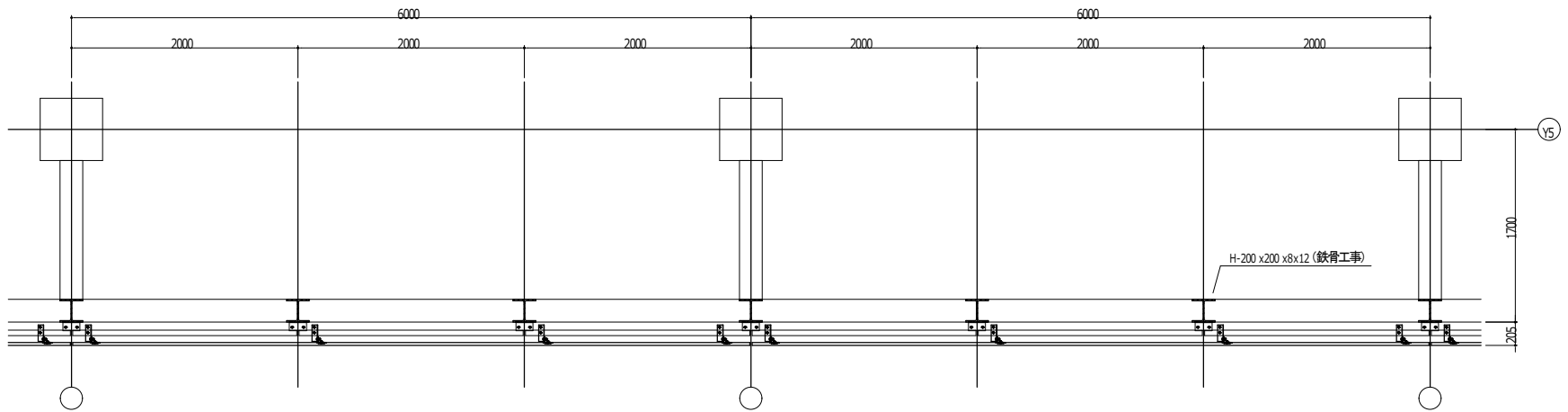
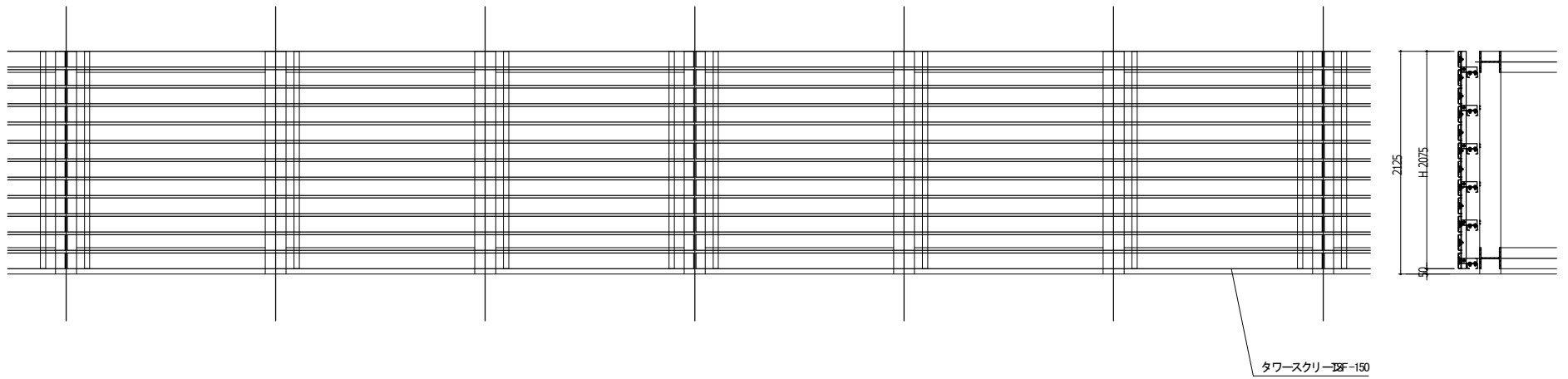
トイレブース 断面図 S=1:5




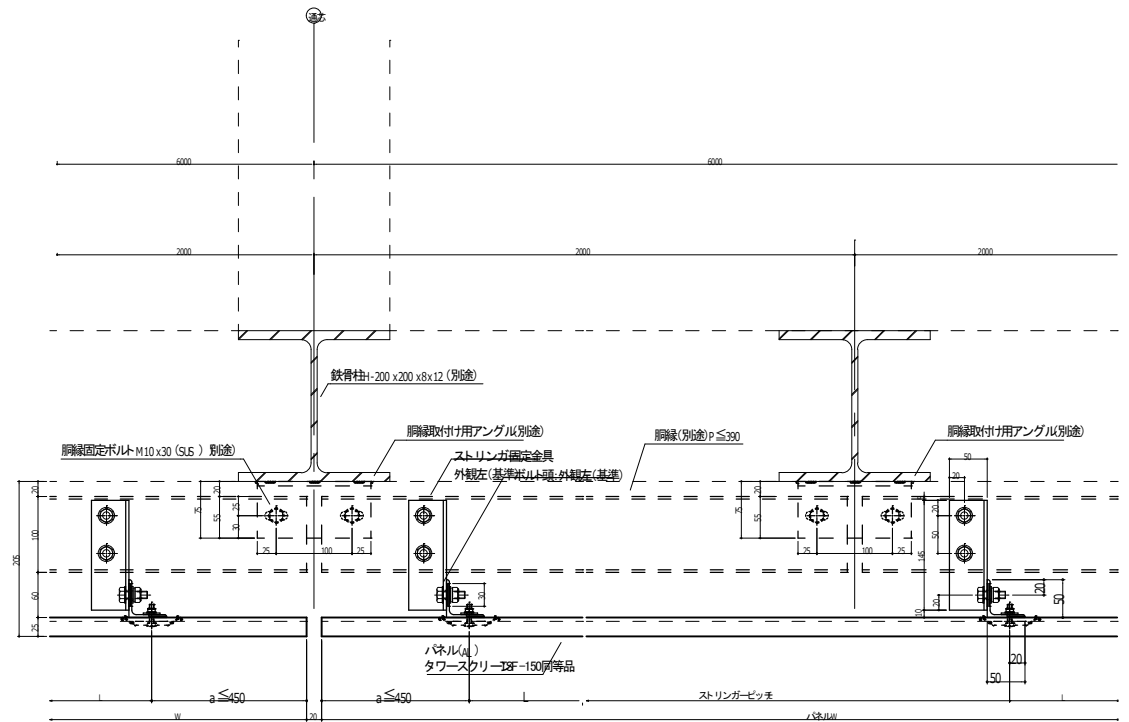
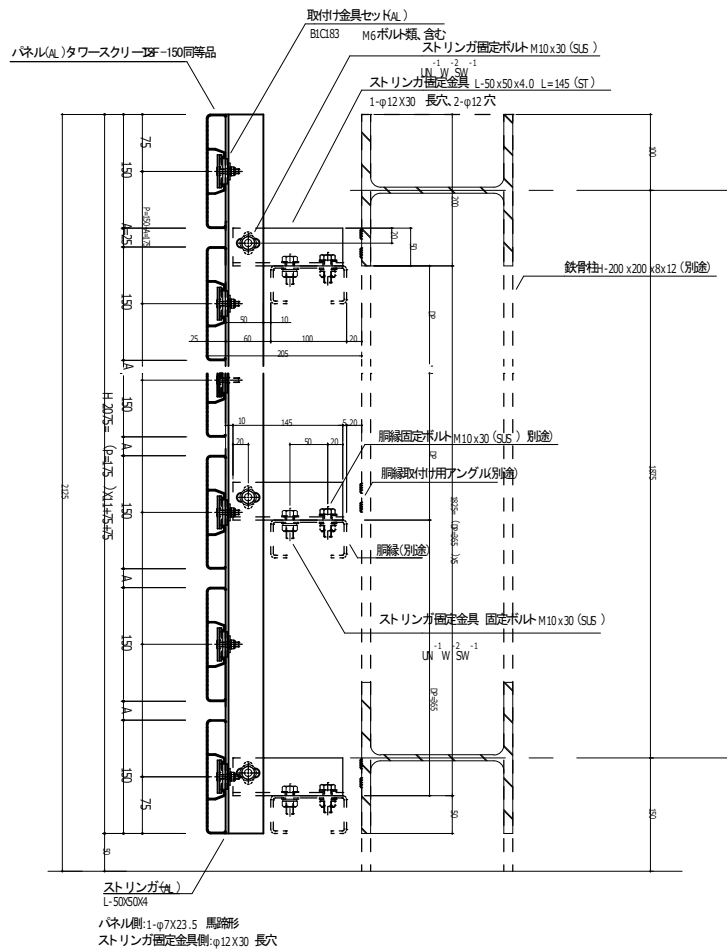
◇仕様表 (小松ウオール サニティTB-GPRタイプ)


項目	部材	材料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: ハ'ーチ9T) 標準柄 木目含む
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
付属品	脚金物	T型サポート <ヘアライン仕上>
	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	笠木	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
	ヒンジ/SKヒンジ	中心吊レベティヒンジ/中心吊ヒンジ
	ロック (抗菌仕様)	スライドロックEC ※非常時解放外開き ゴムなし、扉戸先倒機能とする。
	引手 (抗菌仕様)	引手HM
	その他金物	戸当り帽子掛けSK

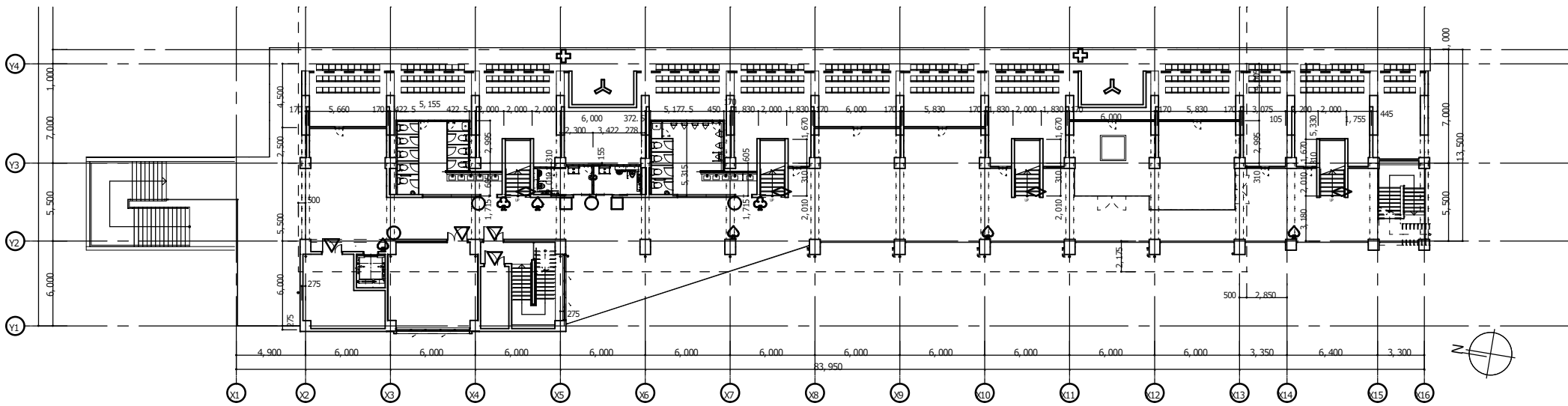




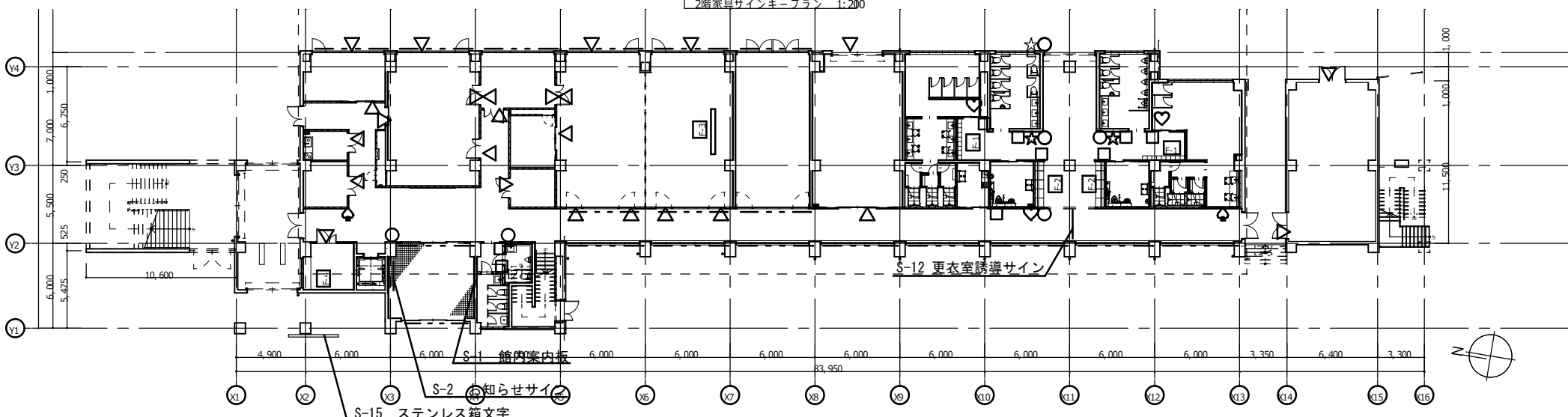
	徳島県土整備部営繕課	●工事名 徳島県蔵本公園ブルースタンド改築工事のうち建築工事 ●図面名 目隠しルーバー詳細図1	●図面番号 A-84 ●縮尺 A2: 1:30 A3: 70.7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗 <small>1 級建築士登録 119292号 PHONE (088) 686-6491</small>
--	------------	--	---	---



	徳島県土整備部宮橋課	●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事 ●図面名 目隠しルーバー詳細図2	●図面番号 A-85 ●縮尺 A2: 1:5 A3: 70: 7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村 史朗 <small>1 総建築士登録 119292号 PHONE (088) 686-6491</small>
--	------------	---	--	---



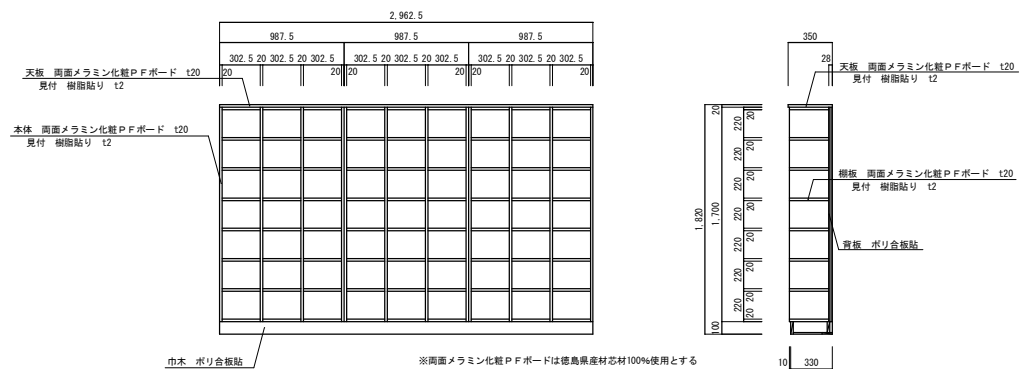
2階家具サインキープラン 1:200



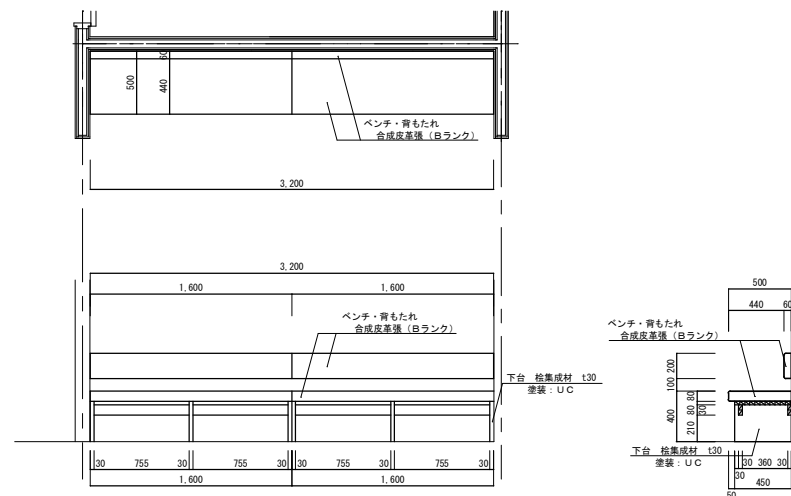
1階家具サインキープラン図 1:200

※凡例		1 F	2 F	合計
◆ S-3	フロア案内板	2	5	7
△ S-4	室名サイン (シート)	25	4	29
□ S-5	ピクトサイン (平付)	9	2	11
○ S-6	ピクトサイン (突出)	6	4	10
⊕ S-7	ピクトサイン (ペイント)	-	2	2
♡ S-8	更衣室案内板	3	-	3
★ S-9	注意書きサイン	3	-	3
◇ S-10	階段表示	-	4	4
— S-11	衝突防止サイン	≒96.7m	≒4.6m	≒101.3m
⊕ S-13	車椅子観覧席サイン (突出)	-	2	2
♣ S-14	車椅子観覧席サイン (ペイント)	-	2	2

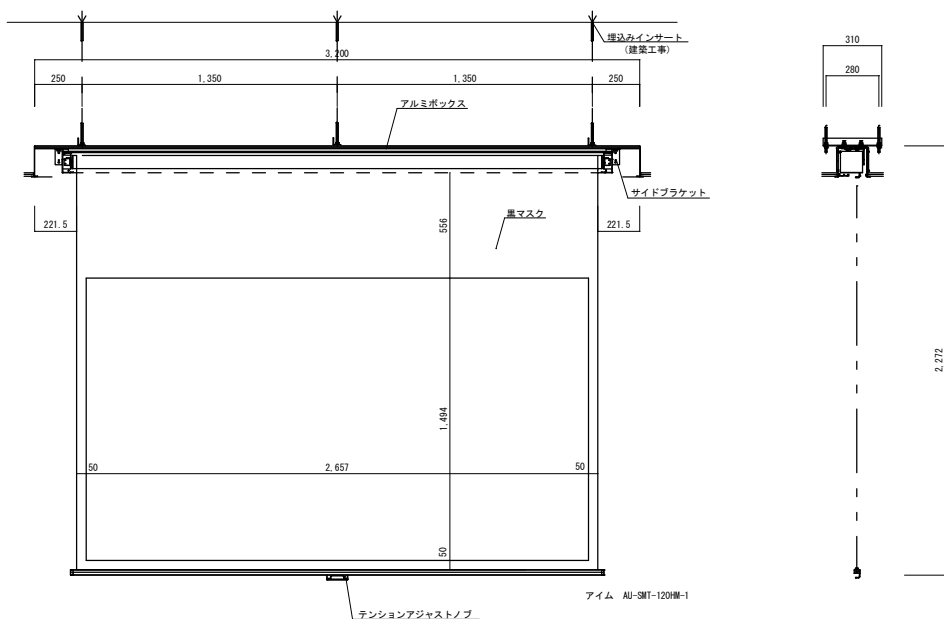
F-1 踏込 / 下足箱 (63人用) 数量: 2ヶ処



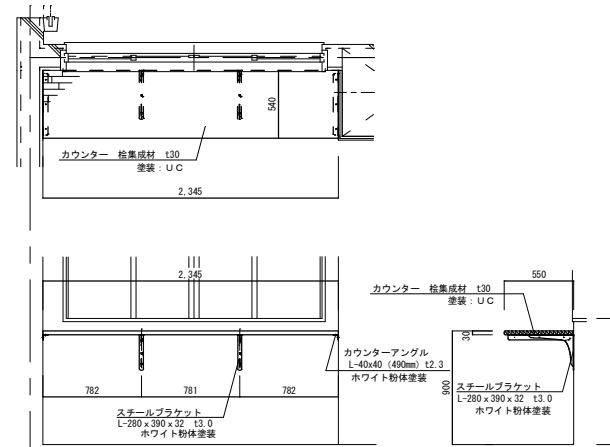
F-2 ホール / ベンチ 数量: 2ヶ処



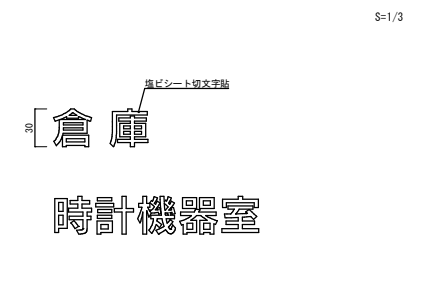
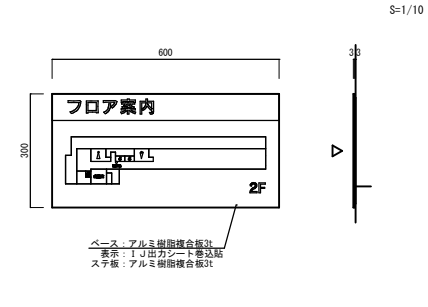
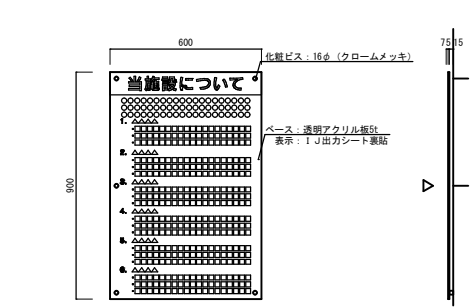
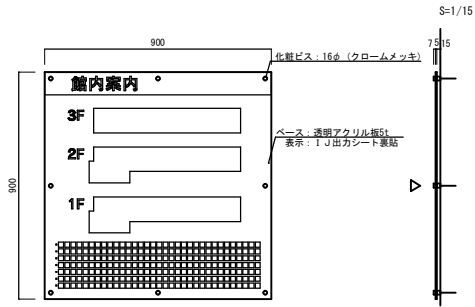
F-3 会議室 / スクリーン (120インチ 16:9) BOX共 数量: 1ヶ処



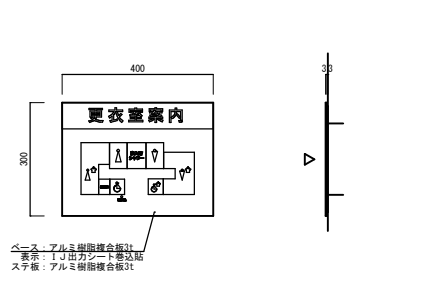
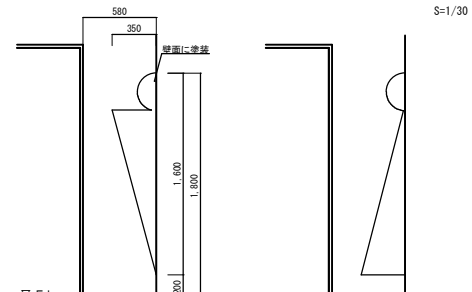
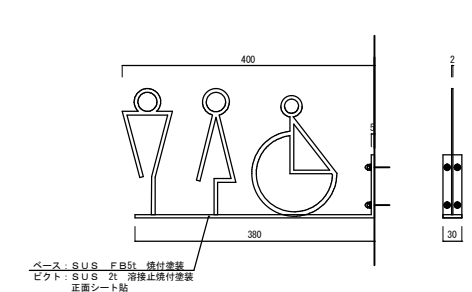
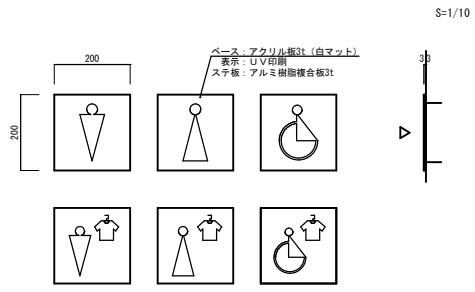
F-4 管理室 / カウンター 数量: 1ヶ処



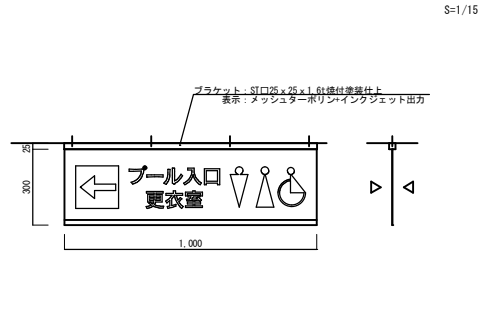
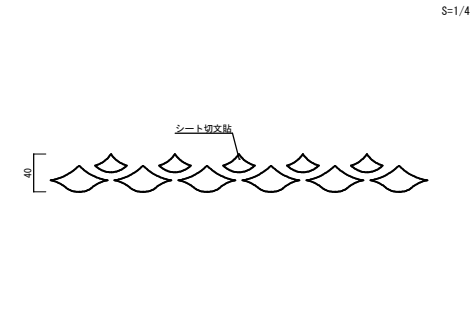
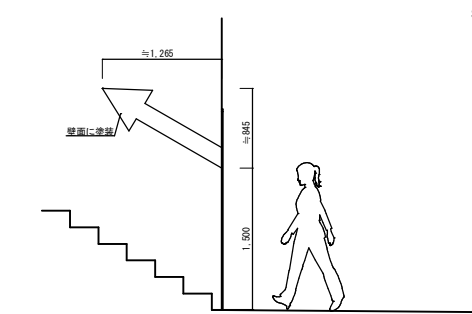
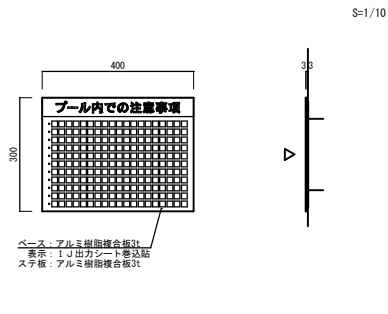
S-1	館内案内板	数量：1ヶ処	S-2	お知らせサイン	数量：1ヶ処	S-3	フロア案内板	数量：7ヶ処	S-4	室名サイン（シート）	数量：29ヶ処
-----	-------	--------	-----	---------	--------	-----	--------	--------	-----	------------	---------



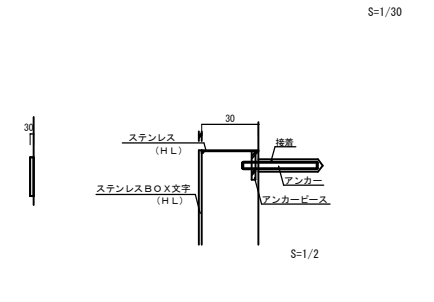
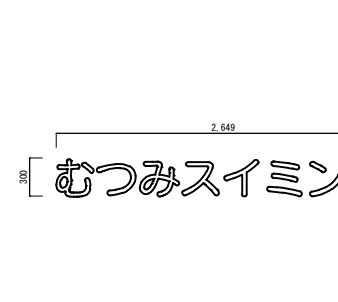
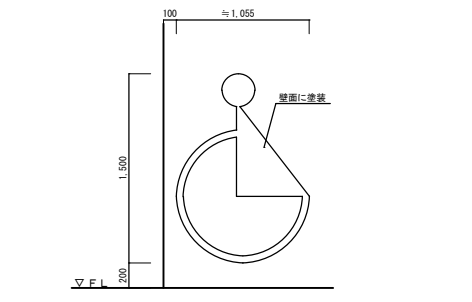
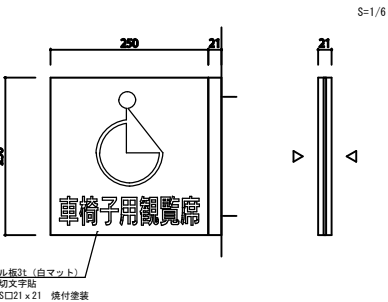
S-5	ピクトサイン（平付）	数量：11ヶ処	S-6	ピクトサイン（突出）	数量：10ヶ処	S-7	ピクトサイン（ペイント）	数量：2ヶ処	S-8	更衣室案内板	数量：3ヶ処
-----	------------	---------	-----	------------	---------	-----	--------------	--------	-----	--------	--------




S-9	注意書きサイン	数量：3ヶ処	S-10	階段表示	数量：4ヶ処	S-11	衝突防止サイン	数量：≒101.3m	S-12	更衣室誘導サイン	数量：1ヶ処
-----	---------	--------	------	------	--------	------	---------	------------	------	----------	--------

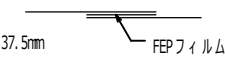
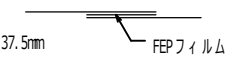
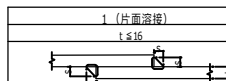
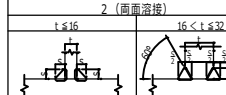
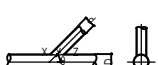
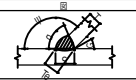

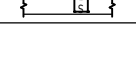
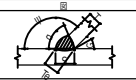

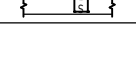
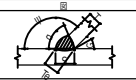

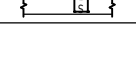


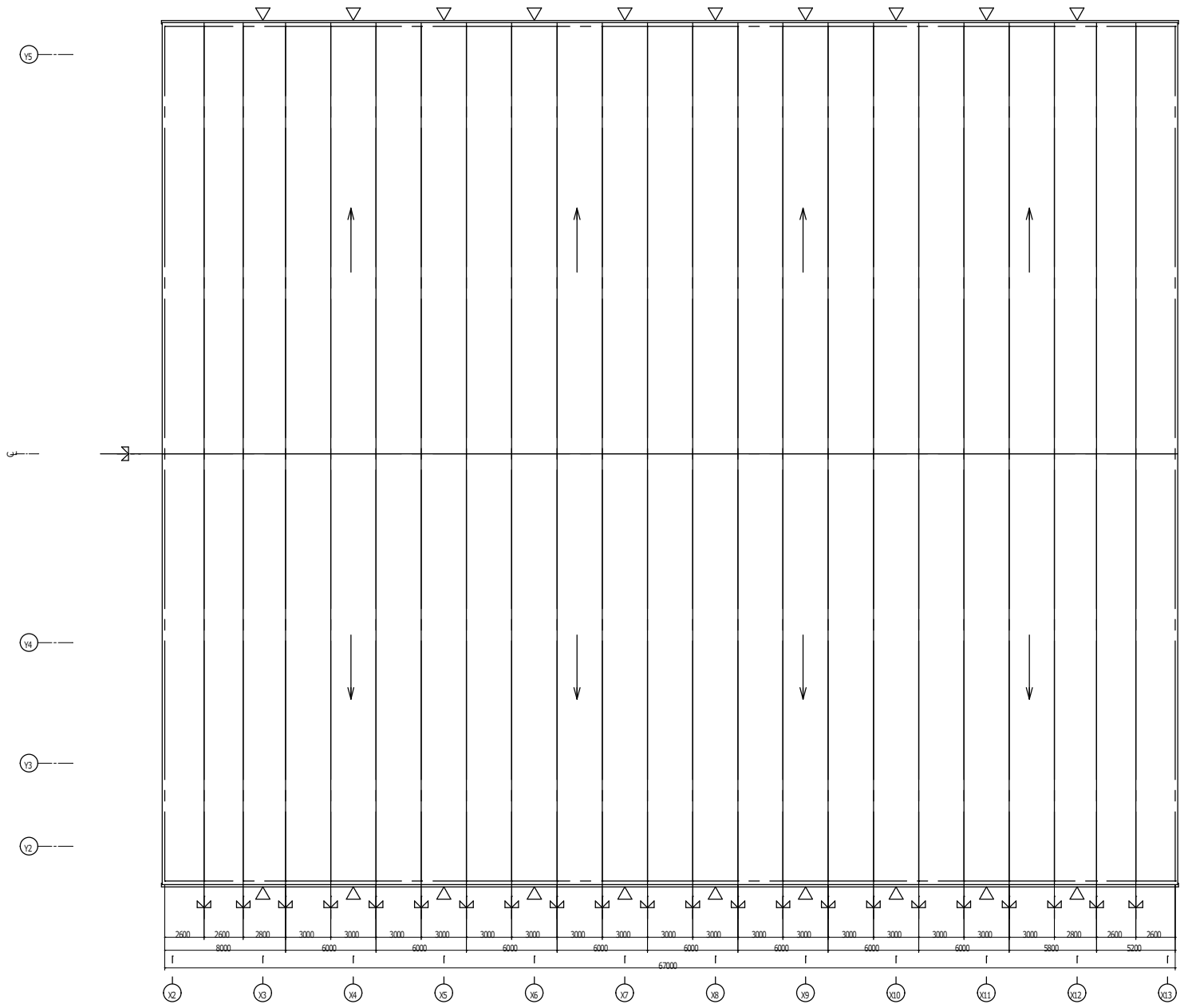
S-13	車椅子観覧席サイン（突出）	数量：2ヶ処	S-14	車椅子観覧席サイン（ペイント）	数量：2ヶ処	S-15	ステンレス箱文字	数量：1ヶ処
------	---------------	--------	------	-----------------	--------	------	----------	--------



徳島県土整備部宮橋課		●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事	●図面番号 A-88	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村 史朗
		●図面名 サイン詳細図 1	●縮尺 A2: 1:10 A3: 70.7% 縮小	

膜構造部仕様書


鉄骨工事	構造用鋼材 種類・材質 一般構造用鋼材 ◎ SS 400 [鋼板・平鋼・形鋼] ◎ STK400 ◎ STKR400 ◎ STK 490 炭素鋼鋼管] ◎ STKR 490 [角形鋼管] ◎ SSC 400 [軽量形鋼] ◎ その他 () 溶接構造用鋼材 ◎ SM490A ◎ その他 ()	建築構造用鋼材 ◎ SM400A ◎ SM400B ◎ SM400C ◎ SM490A ◎ SM490B ◎ SM490C ◎ その他 ()	膜工事	膜材料 国土交通省告示第666号第二、二の表の(一)に適合する膜材料： 認定番号 ◎ MEM-9029 (◎ FGT-800, ◎ FGT-600, FGT-800A, FGT-800A) FGT-600 (厚さ0.6mm) 酸化チタ 光触媒微粒子含有 (両面) ※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること ※一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場 (全ての膜材料加工する工場) で加工すること ※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルと仕込みを整えていること																																																																																																			
	高力ボルト ◎ F10T (S10T) ◎ F8T (溶融亜鉛メッキ高力ボルト) *摩擦接合では鉄骨の摩擦面の処理に注意する。摩擦面のすべ係数を0.45以上 (溶融亜鉛メッキされた鉄骨の場合は0.40以上) 確保するため プラス処理・特殊塗料塗布、他)を行なう。	膜材溶着部 国土交通省告示第666号第二、五、一の二に規定する接合とする FEPフィルムを施した熱溶接。 溶着巾 ◎ 75mm ◎ 50mm ◎ 37.5mm 		膜材溶着部 国土交通省告示第666号第二、五、一の二に規定する接合とする FEPフィルムを施した熱溶接。 溶着巾 ◎ 75mm ◎ 50mm ◎ 37.5mm 																																																																																																			
	中ボルト ◎ JIS規格品 (SW付き) ◎ その他 ()	膜材溶着部 国土交通省告示第666号第三、1のイ(1)に規定する定着方法とする 1. 膜定着プレート * 膜材は、膜定着プレート又はファスナーでクランプする 膜定着プレートアル押し出し型材又はアルミプレート (A-6061S-T6) アルマイク、クリアμ仕上 ファスナーアル押し出し型材 (A-6061S-T6) アルマイク、クリアμ仕上 2. 膜定着ボルト ボルト径 ◎ M12 ◎ M10 材質 ◎ SUS304 ◎ SUS316 ◎ 溶融亜鉛メッキ ◎ ユニクロメッキ																																																																																																					
溶接 隅肉溶接のサイズ <table border="1"> <tr><td>t</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>s</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> </table> (単位: mm) <table border="1"> <tr><td>t</td><td>19</td><td>22</td><td>25</td><td>28</td><td>30</td><td>32</td><td>36</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>s</td><td>11</td><td>13</td><td>15</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>21</td><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 (片面溶接) (単位: mm)  2 (両面溶接) 	t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	t	19	22	25	28	30	32	36	40						s	11	13	15	17	18	19	21	24						鋼管の溶接 一部突合せ一部隅肉溶接 適用条件 交角 $\theta \geq 30^\circ$ 管径比 $d/D \leq 1$ d: 支管外径 D: 主管外径  <table border="1"> <tr><th>部</th><th>条件</th><th>適用範囲</th><th>溶着条件</th></tr> <tr><td rowspan="5">X部</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">2</td><td rowspan="5">F H V O</td><td>W</td><td>$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$</td></tr> <tr><td>Te</td><td>$\geq 1.4T$ $\geq T$</td></tr> <tr><td>G</td><td>0</td></tr> <tr><td>D</td><td>$\geq 45^\circ$</td></tr> <tr><td>S</td><td>$\leq 2T$</td></tr> <tr><td rowspan="5">Y部</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">2</td><td rowspan="5">F H V O</td><td>W</td><td>$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$</td></tr> <tr><td>Te</td><td>$\geq 1.4T$ $\geq T$</td></tr> <tr><td>G</td><td>0</td></tr> <tr><td>D</td><td>$\geq 45^\circ$</td></tr> <tr><td>S</td><td>$\leq 2T$</td></tr> <tr><td rowspan="5">Z部</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">2</td><td rowspan="5">F H V O</td><td>W</td><td>$30^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$</td></tr> <tr><td>Te</td><td>$\geq 1.4T$ $\geq T$</td></tr> <tr><td>G</td><td>0</td></tr> <tr><td>D</td><td>$\geq 45^\circ$</td></tr> <tr><td>S</td><td>$\leq 2T$</td></tr> </table>	部	条件	適用範囲	溶着条件	X部		2	F H V O	W	$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$	Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$	G	0	D	$\geq 45^\circ$	S	$\leq 2T$	Y部		2	F H V O	W	$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$	Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$	G	0	D	$\geq 45^\circ$	S	$\leq 2T$	Z部		2	F H V O	W	$30^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$	Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$	G	0	D	$\geq 45^\circ$	S	$\leq 2T$
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																										
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12																																																																																										
t	19	22	25	28	30	32	36	40																																																																																															
s	11	13	15	17	18	19	21	24																																																																																															
部	条件	適用範囲	溶着条件																																																																																																				
X部		2	F H V O	W	$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$																																																																																																		
				Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$																																																																																																		
				G	0																																																																																																		
				D	$\geq 45^\circ$																																																																																																		
				S	$\leq 2T$																																																																																																		
Y部		2	F H V O	W	$90^\circ \leq \theta \leq 120^\circ$ $\theta < 90^\circ$ $\theta > 120^\circ$																																																																																																		
				Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$																																																																																																		
				G	0																																																																																																		
				D	$\geq 45^\circ$																																																																																																		
				S	$\leq 2T$																																																																																																		
Z部		2	F H V O	W	$30^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$																																																																																																		
				Te	$\geq 1.4T$ $\geq T$																																																																																																		
				G	0																																																																																																		
				D	$\geq 45^\circ$																																																																																																		
				S	$\leq 2T$																																																																																																		
塗装工事 溶融亜鉛メッキ <table border="1"> <tr><th>等級</th><th>板厚</th></tr> <tr><td>HDZ35</td><td>1.6mm 以上</td></tr> <tr><td>HDZ45</td><td>3.2mm 以上</td></tr> <tr><td>HDZ55</td><td>6mm 以上</td></tr> </table> 溶融亜鉛メッキ後、常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り <table border="1"> <tr><th>工程</th><th>塗料名</th><th>塗布量(kg/m²)</th><th>塗装方法</th><th>施工区分</th></tr> <tr><td>1 素地調整</td><td>リ・澱塩もしくはスー・ブラスト</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2 下塗り (1回目)</td><td>変性エポキシ樹脂プライマ→JASS 18 M-109</td><td>0.14</td><td>吹付・はけ</td><td>工場</td></tr> <tr><td>3 下塗り (2回目)</td><td>エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MO)</td><td>0.14</td><td>吹付・はけ</td><td>工場</td></tr> <tr><td>4 中塗り</td><td>鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)</td><td>0.14</td><td>は 吹付</td><td>現場</td></tr> <tr><td>5 上塗り</td><td>鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)</td><td>0.10</td><td>は 吹付</td><td>現場</td></tr> </table>	等級	板厚	HDZ35	1.6mm 以上	HDZ45	3.2mm 以上	HDZ55	6mm 以上	工程	塗料名	塗布量(kg/m ²)	塗装方法	施工区分	1 素地調整	リ・澱塩もしくはスー・ブラスト				2 下塗り (1回目)	変性エポキシ樹脂プライマ→JASS 18 M-109	0.14	吹付・はけ	工場	3 下塗り (2回目)	エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MO)	0.14	吹付・はけ	工場	4 中塗り	鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)	0.14	は 吹付	現場	5 上塗り	鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)	0.10	は 吹付	現場																																																																	
等級	板厚																																																																																																						
HDZ35	1.6mm 以上																																																																																																						
HDZ45	3.2mm 以上																																																																																																						
HDZ55	6mm 以上																																																																																																						
工程	塗料名	塗布量(kg/m ²)	塗装方法	施工区分																																																																																																			
1 素地調整	リ・澱塩もしくはスー・ブラスト																																																																																																						
2 下塗り (1回目)	変性エポキシ樹脂プライマ→JASS 18 M-109	0.14	吹付・はけ	工場																																																																																																			
3 下塗り (2回目)	エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MO)	0.14	吹付・はけ	工場																																																																																																			
4 中塗り	鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)	0.14	は 吹付	現場																																																																																																			
5 上塗り	鋼構造用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)	0.10	は 吹付	現場																																																																																																			

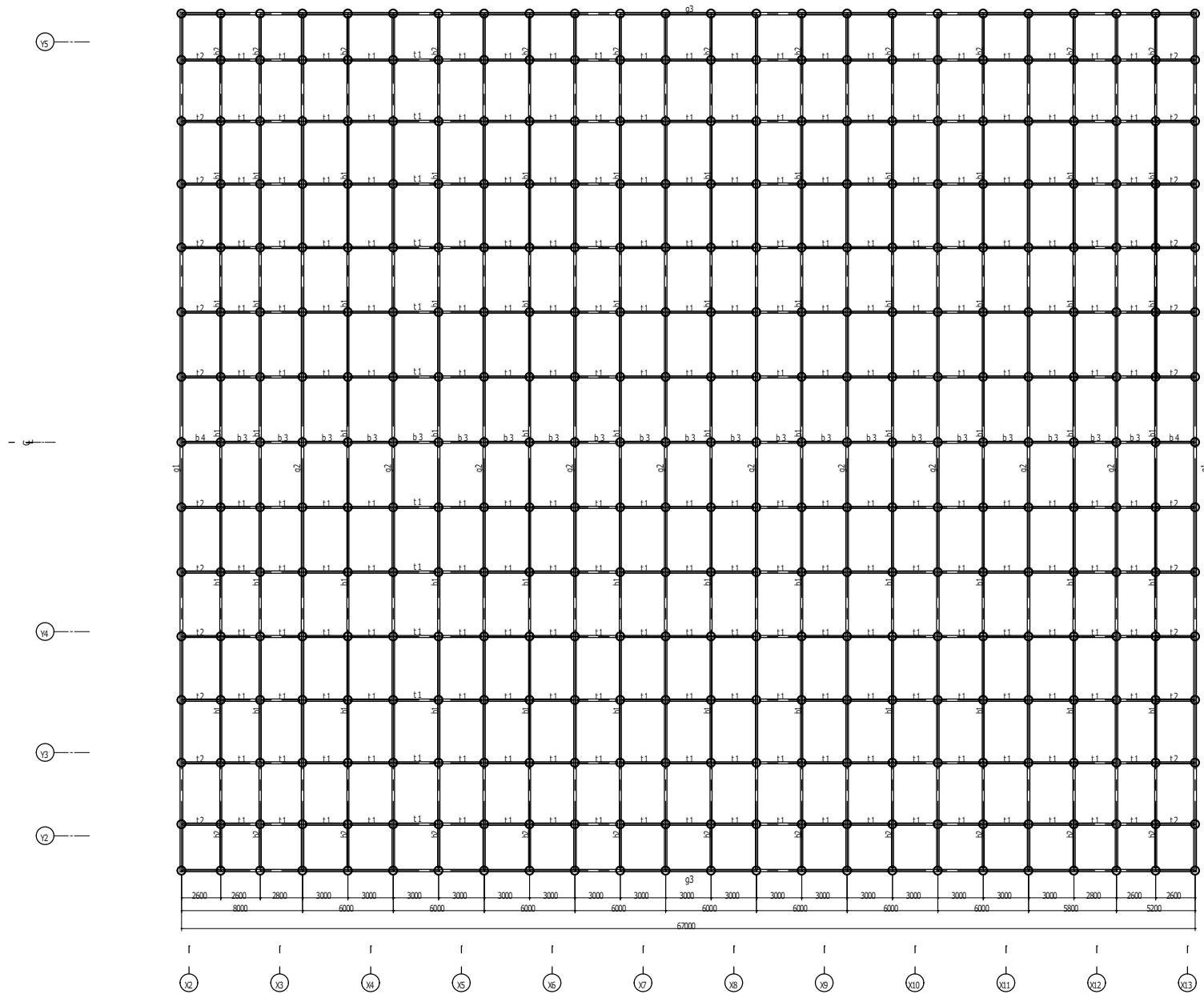


屋根膜	FGT-600 (厚±0.6mm) 酸化チタノ触媒微粒子含有 (両面) MEM-9029 (建築基準法第37条第二号) NM-8665 (建築基準法第2条第九号 不燃材料) ※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること ※一般社団法人日本膜構造協会の登録加工工場認定制度に登録された工場 (全ての膜材料施工する工場) で施工すること ※膜材料を製品使用後に引取り、リサイクルを推奨していること
-----	--

- は水流れ方向を示す。
- ≡ は中間定着部を示す。
- ≡ は膜分割部を示す。
- ▽ は屋根、落し口 (集水溝)

屋根伏図 1:200

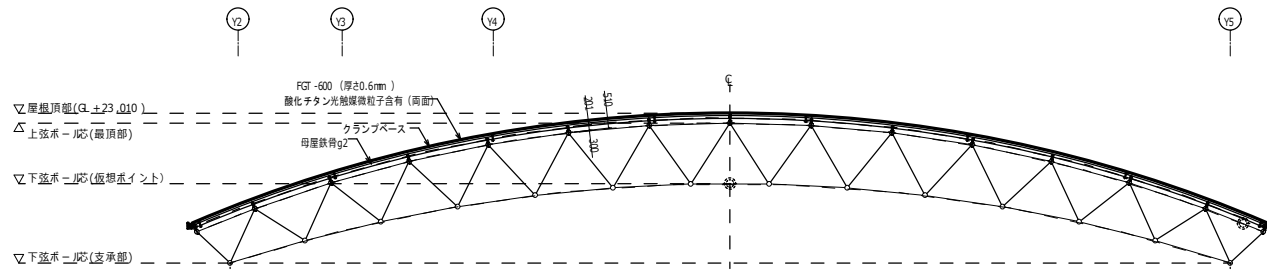
		徳島県土整備部営繕課	●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事 ●図面名 屋根膜部詳細図2	●図面番号 A-90 ●縮尺 A2: 1:200 A3: 70.7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村 史朗 <small>〒760-0888 徳島県徳島市東区南町1-9-22 PHONE (0878) 686-6491</small>
--	--	------------	--	--	---



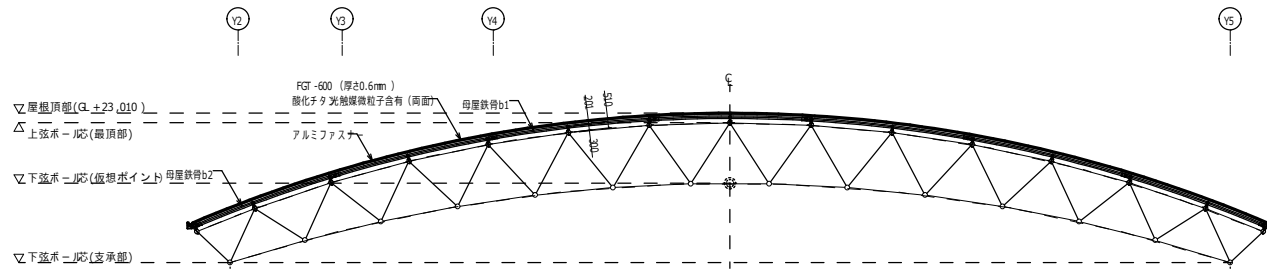
母屋伏図 1:200 註記 (○)印はボール取り合い位置を示す

母屋部材リスト
 (註記事項)
 1) 溶融亜鉛めっき仕様とする
 2) めっき劣化及び空気抜きは、工作図による

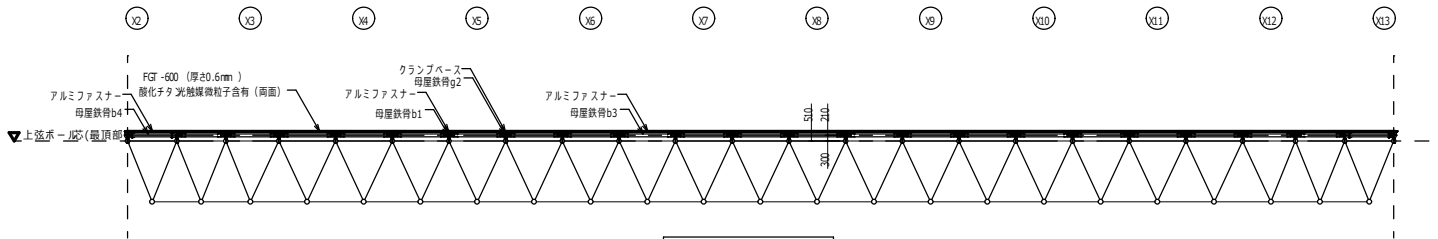
符号	サイズ	材質	備考
g1	P-190.7φ x 5.3	STK490	
g2	P-165.2φ x 4.9	STK400	
g3	P-165.2φ x 3.7	STK400	
b1	P-139.8φ x 4.0	STK400	
b2	P-139.8φ x 6.6	STK400	
b3	P-139.8φ x 3.9	STK400	
b4	P-139.8φ x 6.6	STK400	
t1	P-139.8φ x 3.9	STK400	
t2	P-139.8φ x 4.0	STK400	
屋根膜	FGF-600 (厚20.6mm) 酸化チタン光触媒微粒子含有(両面) ※一般社団法人日本建築協会第1種正会員であること ※一般社団法人日本建築協会の認定加工工場認定制度に登録された工場(全て4層材料を加工する工場)で加工すること ※部材を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。	不燃材料	



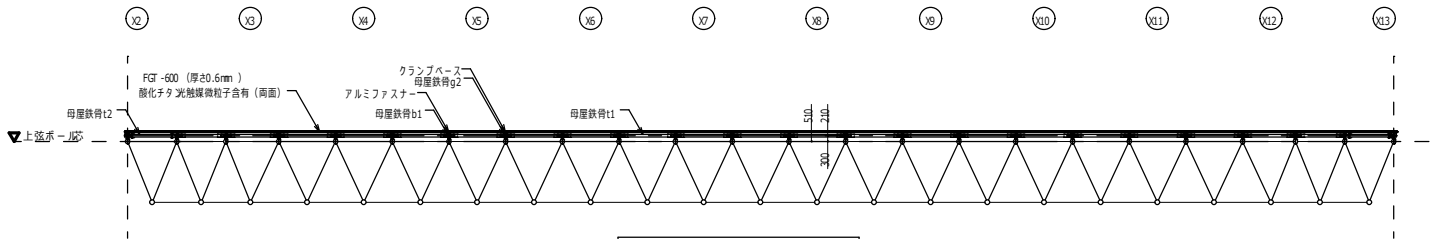
断面図(分割部) 1:200




断面図(中間定着部) 1:200

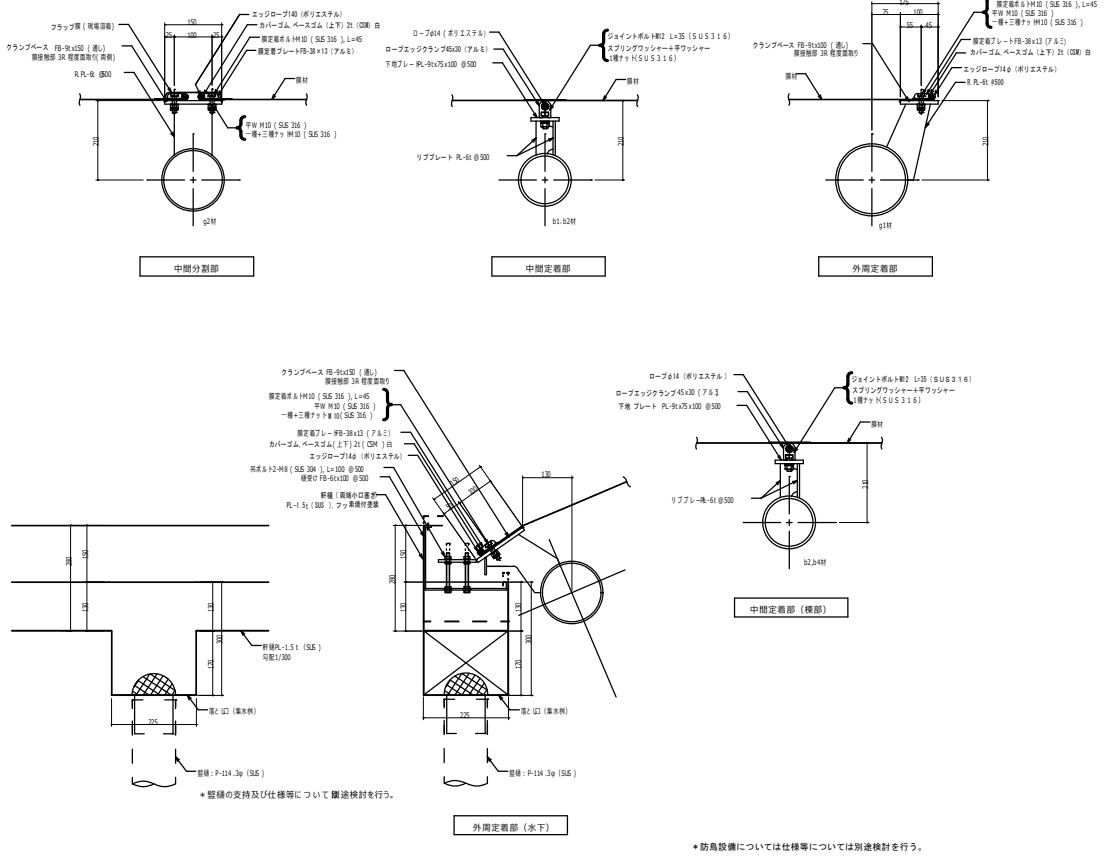
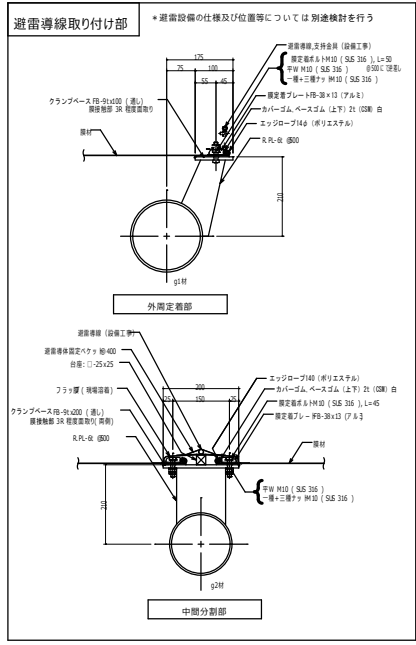
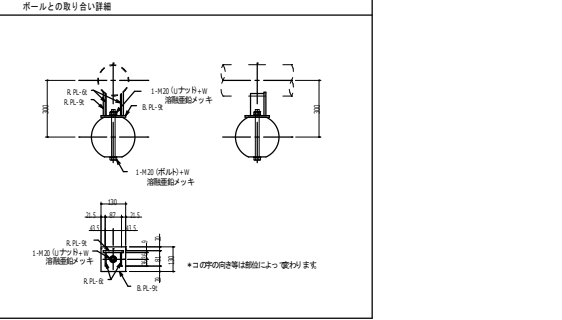
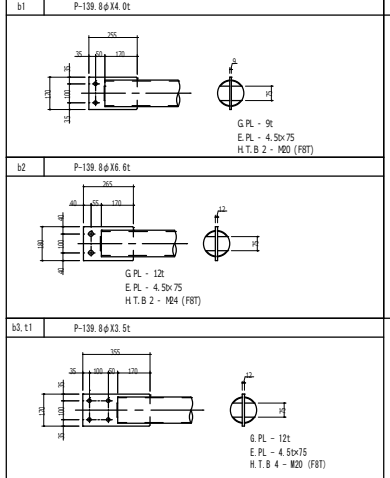
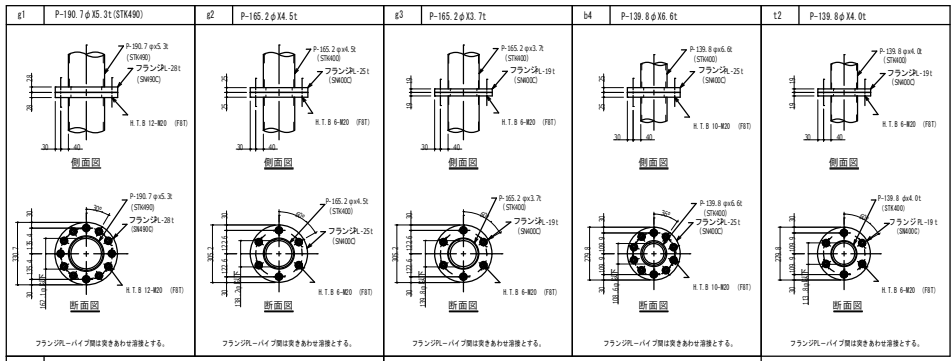


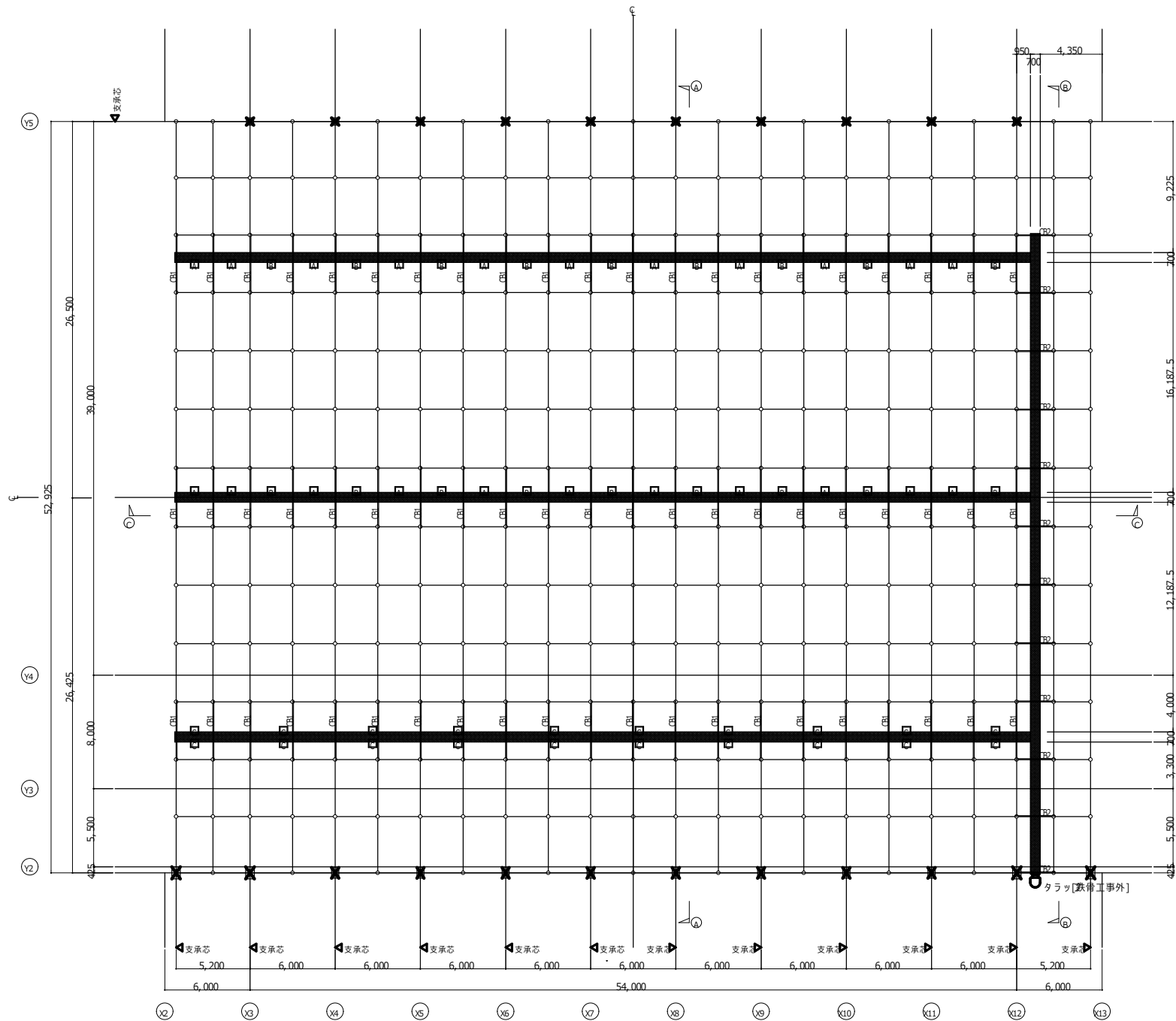
断面図(棟部) 1:200




断面図(一般部) 1:200

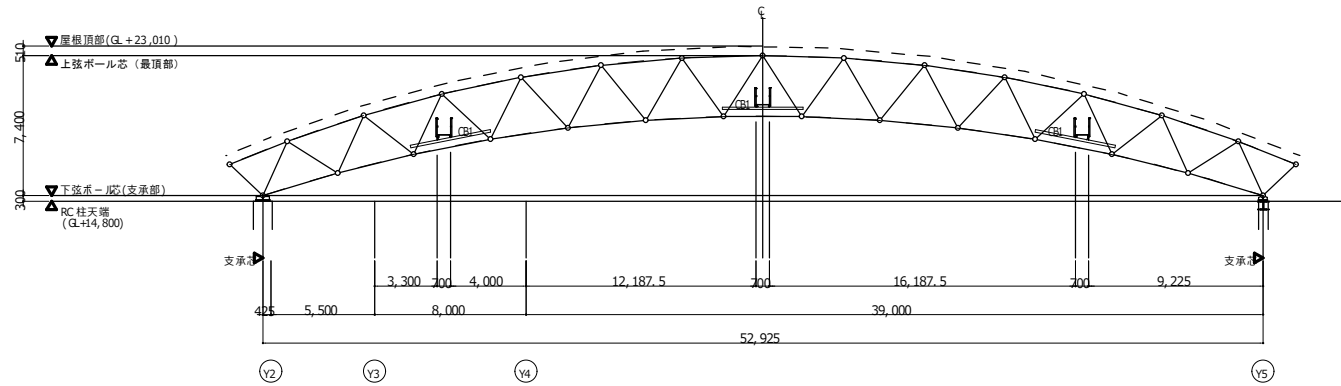
	徳島県土整備部営繕課	●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事 ●図面名 屋根度部詳細図4	●図面番号 A-92 ●縮尺 A2: 1:200 A3: 70.7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗 <small>1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491</small>
--	------------	--	--	--



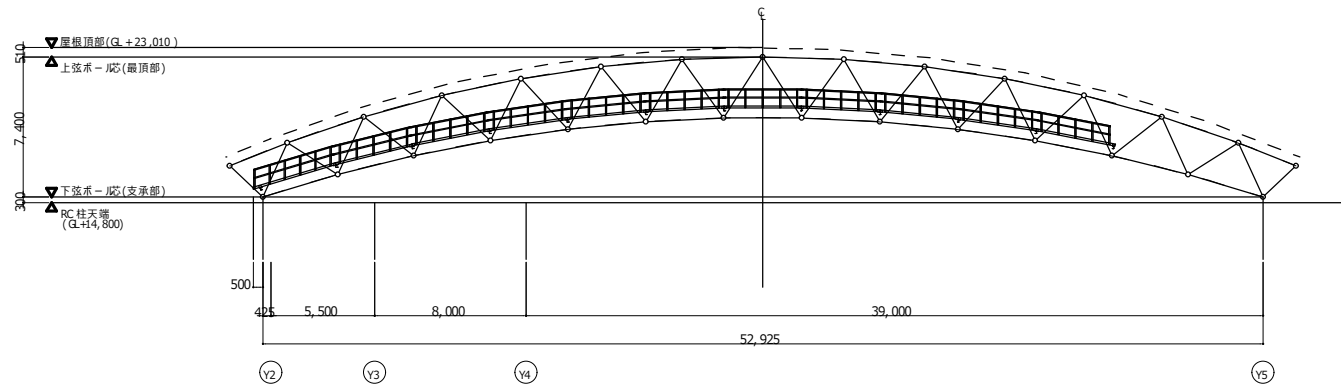


キャットウォーク配置図 (註記) ■表記はキャットウォーク (CW) を示す
 □印は照明器具設置位置を示す[印内の符号は照明器具符号を示す] (設備図参照)
 架構図) 以下弦ボール面屋根トラスを示す

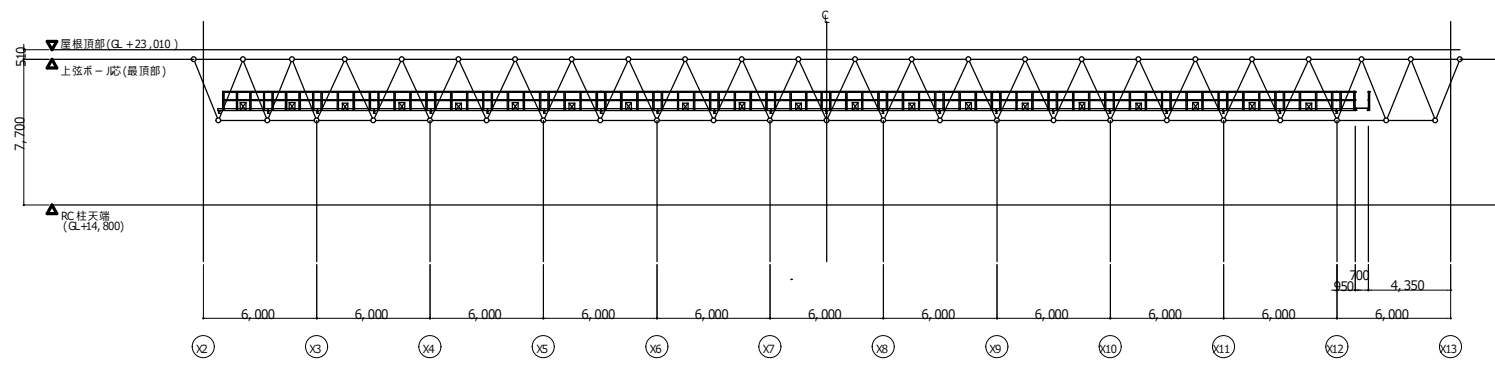
	徳島県土整備部営繕課 ●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事 ●図面名 屋根キャットウォーク詳細図1	●図面番号 A-94 ●縮尺 A2: 1:200 A3: 70.7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗 <small>1 級建築士登録 119292号 PHONE (088) 686-6491</small>
--	--	--	---



キャットウォークA-A断面図




キャットウォークB-B断面図



キャットウォークC-C断面図

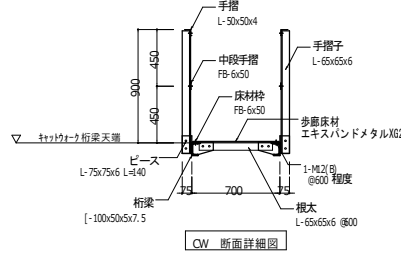
(註記) ■印は照明受ピース位置を示す

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事 ●図面名 屋根キャットウォーク詳細図2	●図面番号 A-95 ●縮尺 A2: 1:200 A3: 70: 7% 縮小	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗 <small>1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491</small>
--	------------	--	--	--

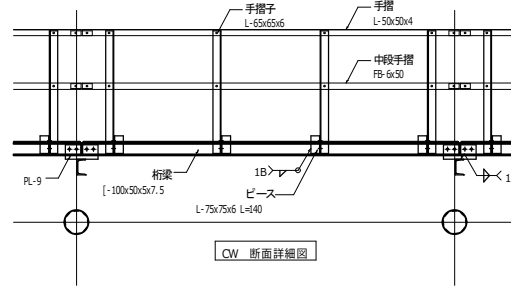
キャットウォーク詳細図

[註記事項]

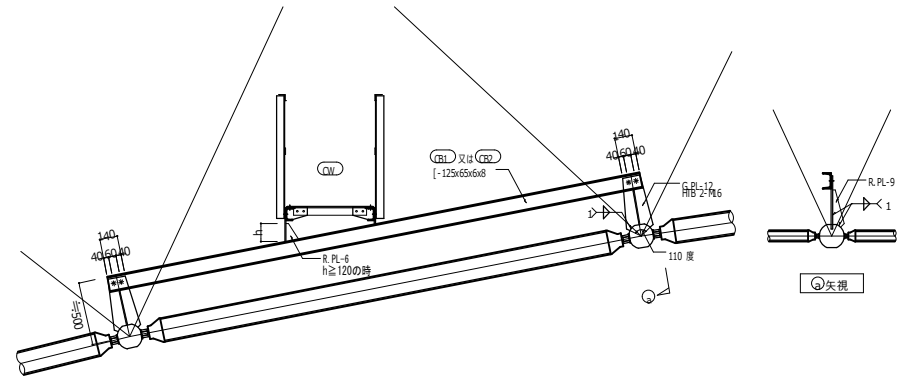
- 1) 溶融亜鉛めっき仕様とする
- 2) システムトラス部は、別図参照のこと
- 3) PL- 表示の鋼板材質 (T=4.5以下及びRF表示は除く) は、特記なき限り SN400B とする
- 4) HTB 表示の溶融亜鉛めっき高力ボルトはF8T(国土交通大臣認定品)とし、摩擦面はリン酸塩処理とする
- 5) (B) 表示のボルトは普通ボルト(溶融亜鉛めっき)《強度区分4.6又は4.8》とする
- 6) めっき抜き及び空気を抜き、工作図による



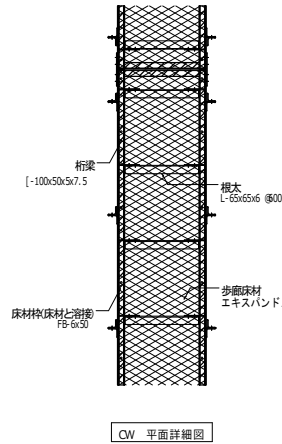
CW 断面詳細図



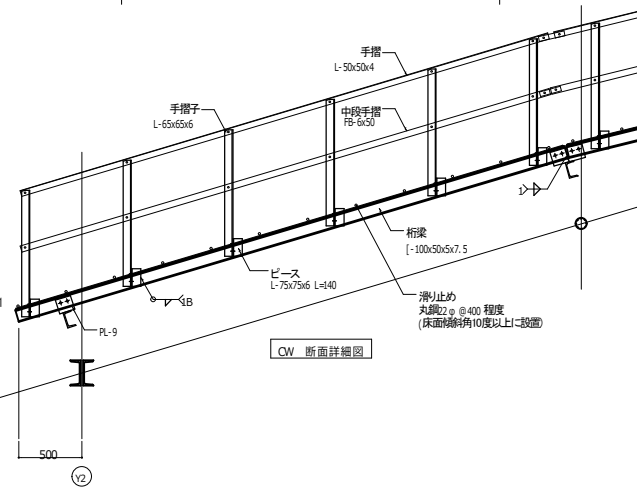
CW 断面詳細図



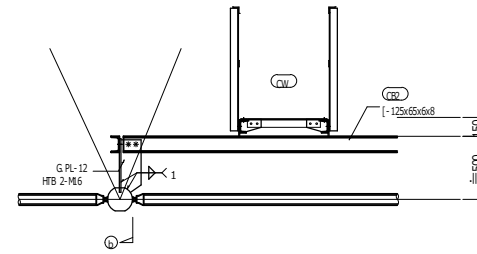
矢視



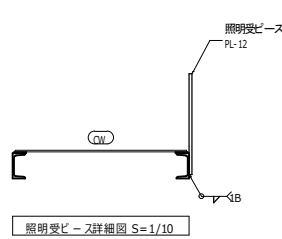
CW 平面詳細図



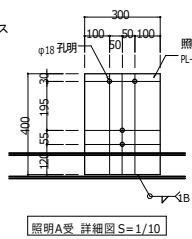
CW 断面詳細図



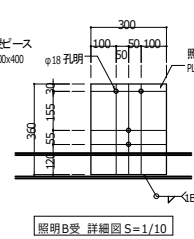
矢視



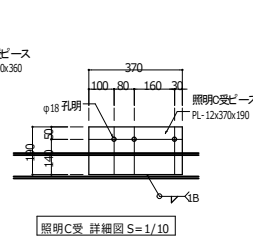
照明受ベース詳細図 S=1/10



照明受ベース詳細図 S=1/10



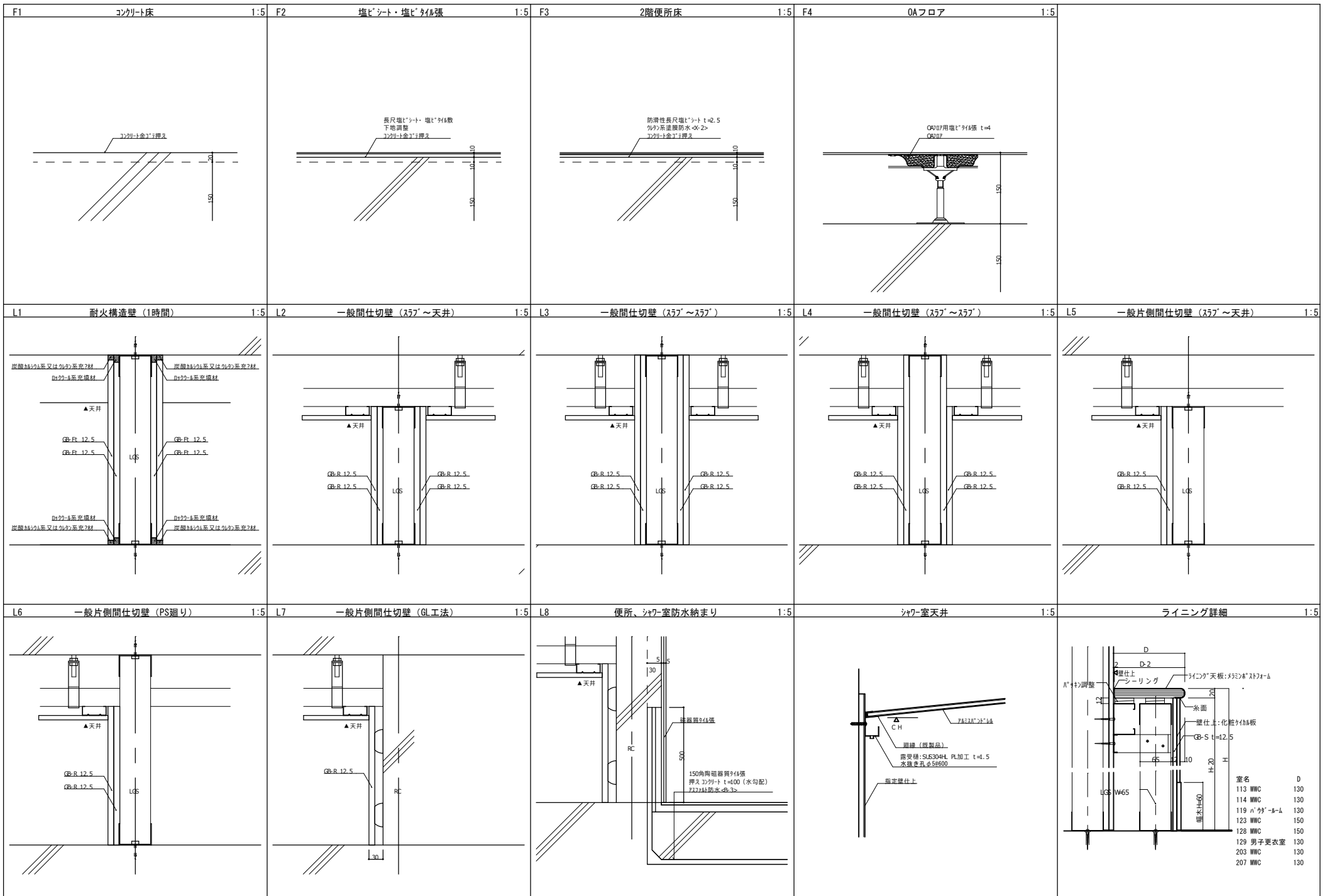
照明受ベース詳細図 S=1/10

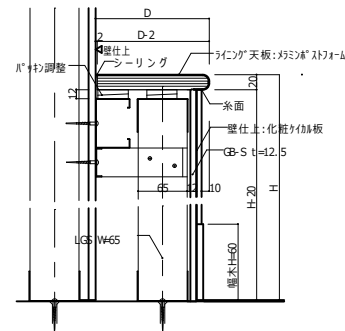
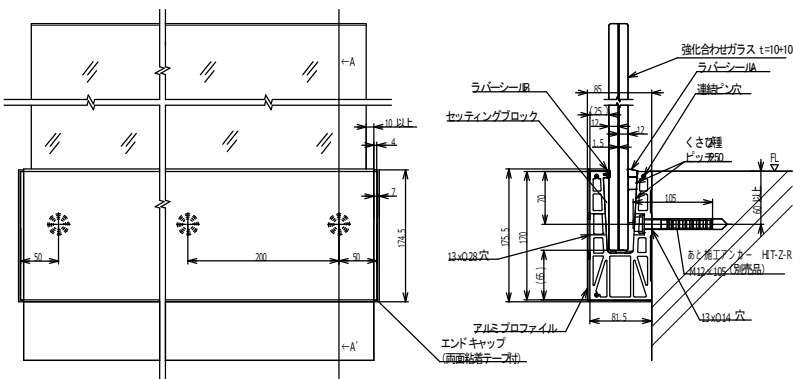


照明受ベース詳細図 S=1/10

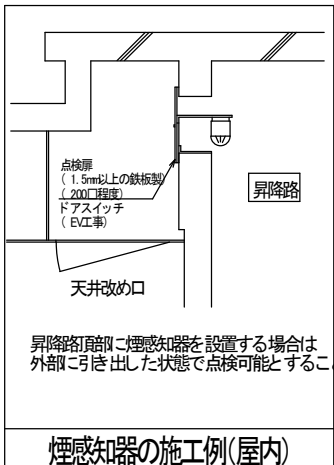
キャットウォーク関係 部材リスト

符号	部位	サイズ	材質	取合	備考
CB1	CW 変梁	[-125x65x6x8]	SS400	G PL-12<SN400B>	HTB 2-M6
CB2	CW 変梁	[-125x65x6x8]	SS400	G PL-12<SN400B>	HTB 2-M6
	桁梁	[-100x50x5x7.5]	SS400	PL-9<SN400B>	2-M6(吊)
	根木	L-65x65x6 @800	SS400	G PL-6<SS400>	2-M2(吊)
	歩廊床材	エキスバンドメタルXG21		床材厚 FB=50<SS400> [除排]	1-M2(吊)
	手摺り	L-50x50x4 @800 ~ 1,000 程度	SS400	ベース [-125x75x6<SS400> 1除排]	2-M2(吊)
	中段手摺り	FB-6x50	SS400		1-M2(吊)
	滑り止め	丸鋼φ2 @400 程度	SS400	溶接	床面傾斜角10度以上に設置
	照明受ベース	PL-12	SS400	溶接	サイズおよび孔位置は詳細図参照

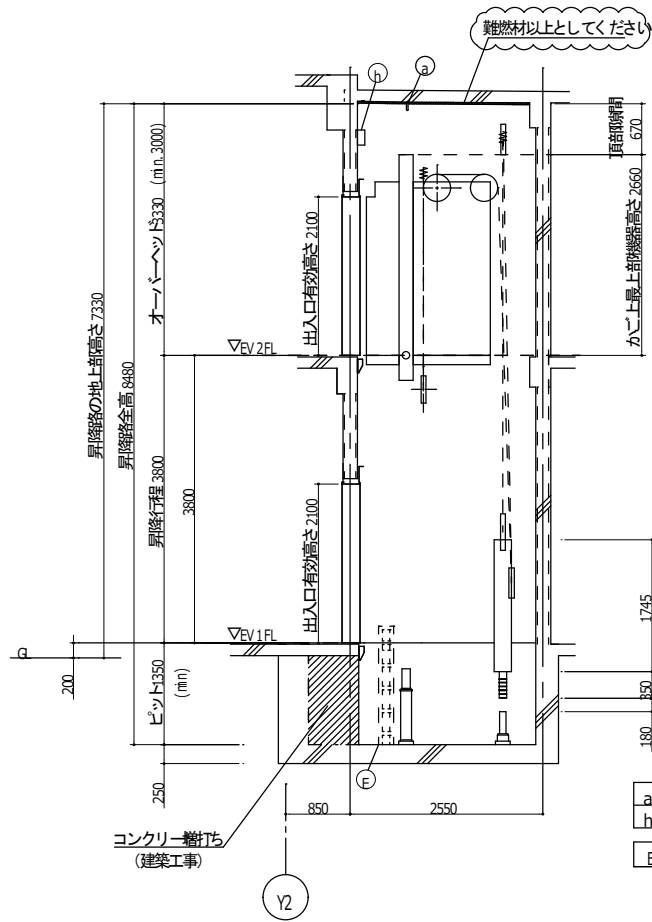




室名	D	H
113 WVC	130	1,100
114 MVC	130	1,300
119 A'クア'-ホール	130	1,100
123 WVC	150	1,100
128 MVC	150	1,100(手洗い) 1,200(小便器)
129 男子更衣室	130	1,100
203 WVC	130	1,100
207 MVC	130	1,100(手洗い) 1,300(小便器、SK)



煙感知器の施工例(屋内)



昇降路断面図 S=1/50

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

- 昇降路の築造工事。
(コック打込原差により必要となるはつりまたは肉付け工事)
・昇降路のコンクリート強度は 21N/㎡ (F21) 以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上。
・昇降路の壁(囲い)は、5cm2の任意の面に直角方向の外力 (300N) が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
- 各階出入口 (インジケータ、押入れ孔含む) の孔あけ工事。
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰めもしくはロックウール詰め工事。
- 乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修工事。
- 屋上・朝放廊下等直接外気と接する乗場における雨水受け設備工事。
(排水口 水勾配 必要など)
- ピット内防水工事。およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
(エレベータ工事の竣工前に完了のこと)
・防水厚は30mm以下。
- 昇降路頂部の荷吊り用フック (20kN) 設置工事。

設備工事関係除外工事

- エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
- 昇降路外のケーブル・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事
- ピット点検用コンセント設置工事。
- 昇降路頂部の煙感知器設置工事。(昇降路頂部より点検が可能なこと)
- エレベータ通風監視用電話機(電話中継盤から監視ユニット設置場所までの配管配線工事)

注意事項

- 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障なきよう願います。また、昇降路内には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
- エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。
- 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。
- 昇降路には有毒ガスや基盤しない煙霧が入らないようにして下さい。
- 昇降路および出入口(風雨)に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
- エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
(必要に応じてコック打込孔あけ、および埋戻し工事)
- 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
- 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

- a 20kN吊りフック (建築工事)
- h 煙感知器 (電気工事)
- E タラップ (EV工事)

仕様一覧	
号機	---
用途	乗用(車いす仕様)
機種	XiCR (エクシオール) 機械室レスXiO2
制御方式	インバータ 制御方式(電力回生無し)
運転操作方式	乗合全自動方式
積載	1000 kg 15 名
速度	60 m/min
動力用電源	三相3線 210 V 60 Hz
照明用電源	単相 100 V 60 Hz
巻上電動機	6.2 kW
停止階及び数	(正面) 1, 2 階 2 箇所 (背面) 階 階
かご内法	(開口) 1600 mm (奥行) 1500 mm (高さ) 2250 mm
出入口寸法	(開口) 900 mm (高さ) 2100 mm
戸の方式	2枚両引き(電動式)
おもり	50 %バランス
荷重条件	※1 250 kg以下
地震時管制運転	●: (P・S波) リスタート運転機能付
火災時管制運転	●
停電時自動着床	●
冠水時管制運転	●
自家発電管制運転	-
緊急地震速報連動	-
長周期地震時管制運転	-
カードポケットセンサー	●
光電式ドアニック	●: (光電式)
光電式多光軸ドアセンサー	-
ドアエッジセンサー	-
ドアウインカー	-
車いす仕様	●
音声案内装置	●: 四カ国語対応 (通常時: 日英、緊急時: 日英中韓)
視覚障がい者仕様 (点字)	●
聴覚障がい者仕様 (伝言灯付インターホンボタン)	●
伝言灯付インターホンボタン	●
応答灯付タクトイルボタン	●
走行お知らせ音	-
数階階間 10mm	●
かごドア側面セーフティ付	●
放送用スピーカー	●
映像分配器	●
インターホンパネル(1箇所)	●
監視鏡	-
(1) 標準対策	●
[EM1フィルタ専用リアクトル]	【回路分類NO.31.6A】換算係数Ki=3.41
(2) オブショ対策	-
【(1)+DCリアクトル】	【回路分類No.33.6A】換算係数Ki=1.8

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号 CAS-0599 (国仕指第4108号)
1, 2 階 乗場ドアは上記認定品とする
認定条件通り 停電時自動着床装置と火災管制運転 (自動) を合わせ設置しております

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

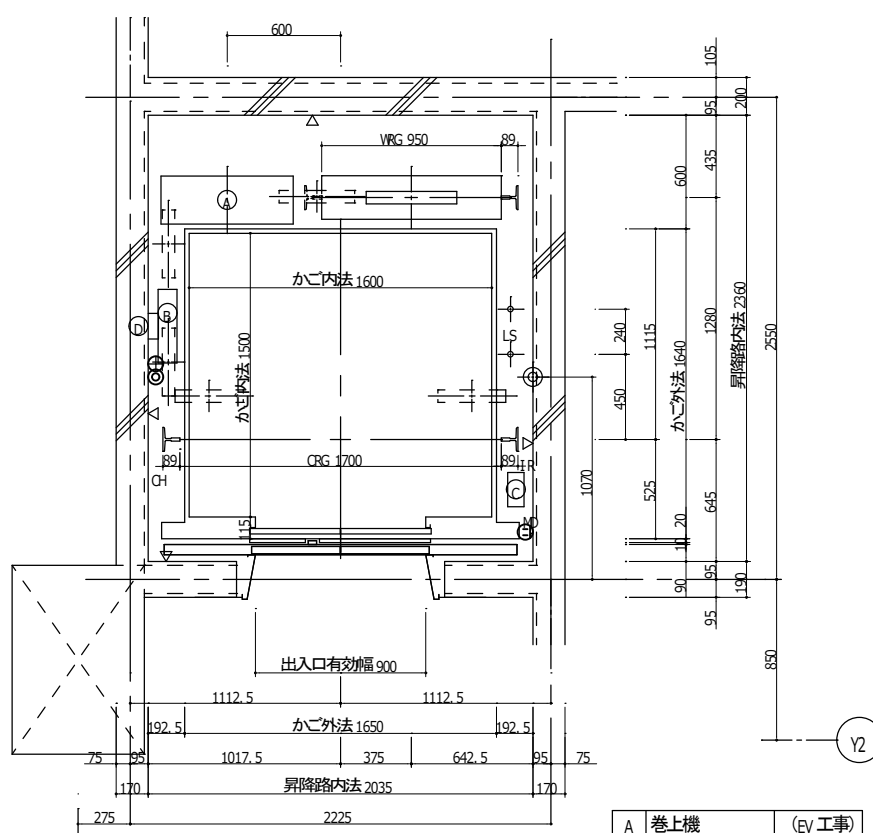
- ・遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給して下さい。
- ・建物側に自動火災感知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給して下さい。

基本仕様

最寄階救出運転
戸閉き不能時救出運転
乗り過ぎ検出 (警報ブザー及び音声案内)
各階強制停止運転 (各停運転)
昇降機耐震設計・施工指針 (2016年度版) 対応
戸閉走行保護装置 (平成20年改正建築基準法施行令対応)
イオンフレック (プラズマクラスター技術搭載/シャープ(株)商標)
耐震クラス (A14)

エコロジー機能

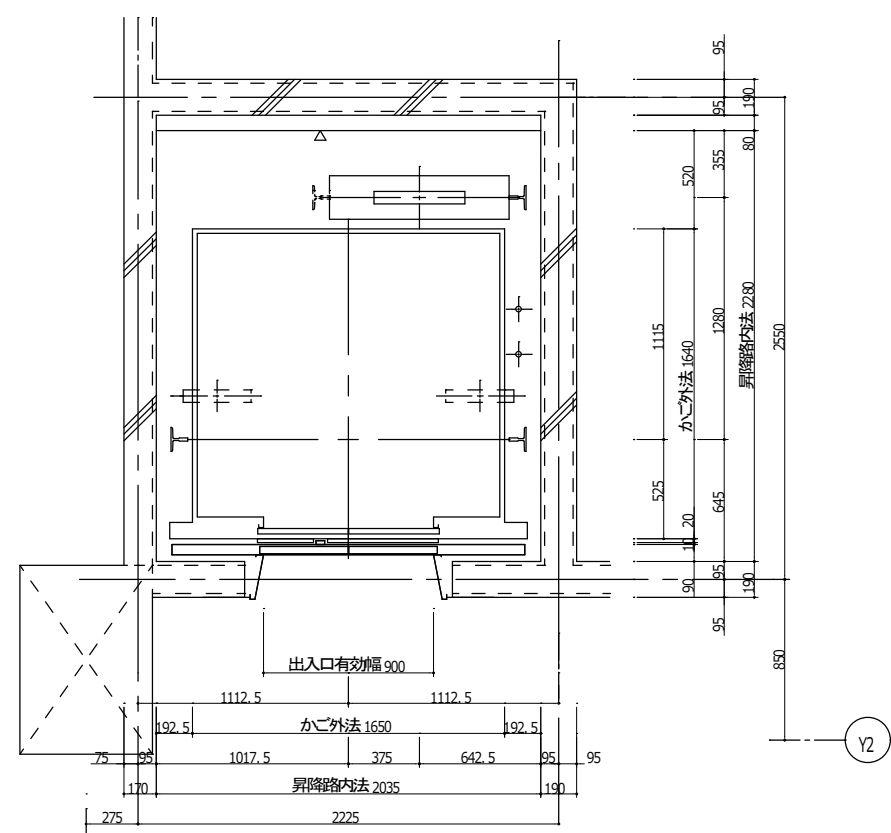
かご天井LED照明 (液晶インジケータのバックライトもLED化)
シックハウス対策 (法令(建基)に基づいたシックハウス対策に対応)
かご照明の自動休止



(1F) 昇降路平面図 S=1/20

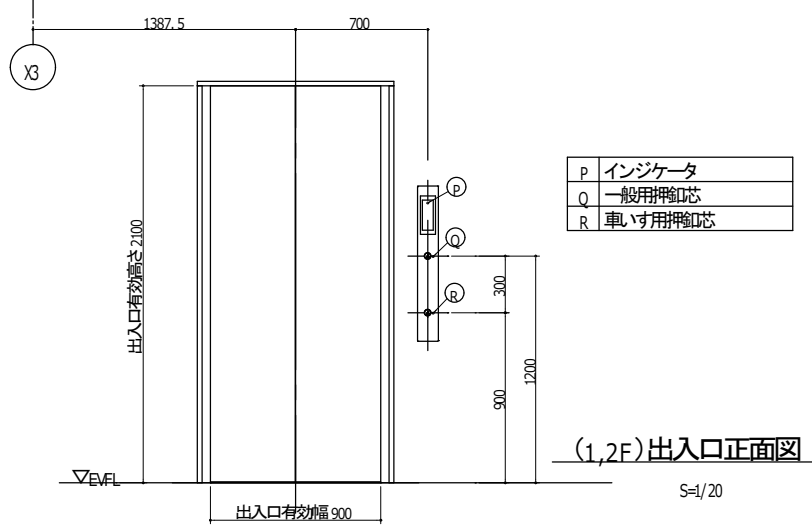
注:ピット内は、塗膜防水仕上願います。
△:防水仕上面を示す。

A	巻上機	(EV 工事)
B	制動機	
C	受電箱・ピッチャフ	
D	地震感知器	



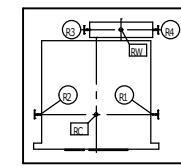
(2F) 昇降路平面図 S=1/20

▲:梁面を示す。



(1,2F) 出入口正面図 S=1/20

P	インジケータ
Q	一般用押印芯
R	車いす用押印芯



ピッチャフ反力 (kN) : 長期荷重

R1	R2	R3	R4
21	23	36	18

ピッチャフ牽力 (kN) : 短期荷重

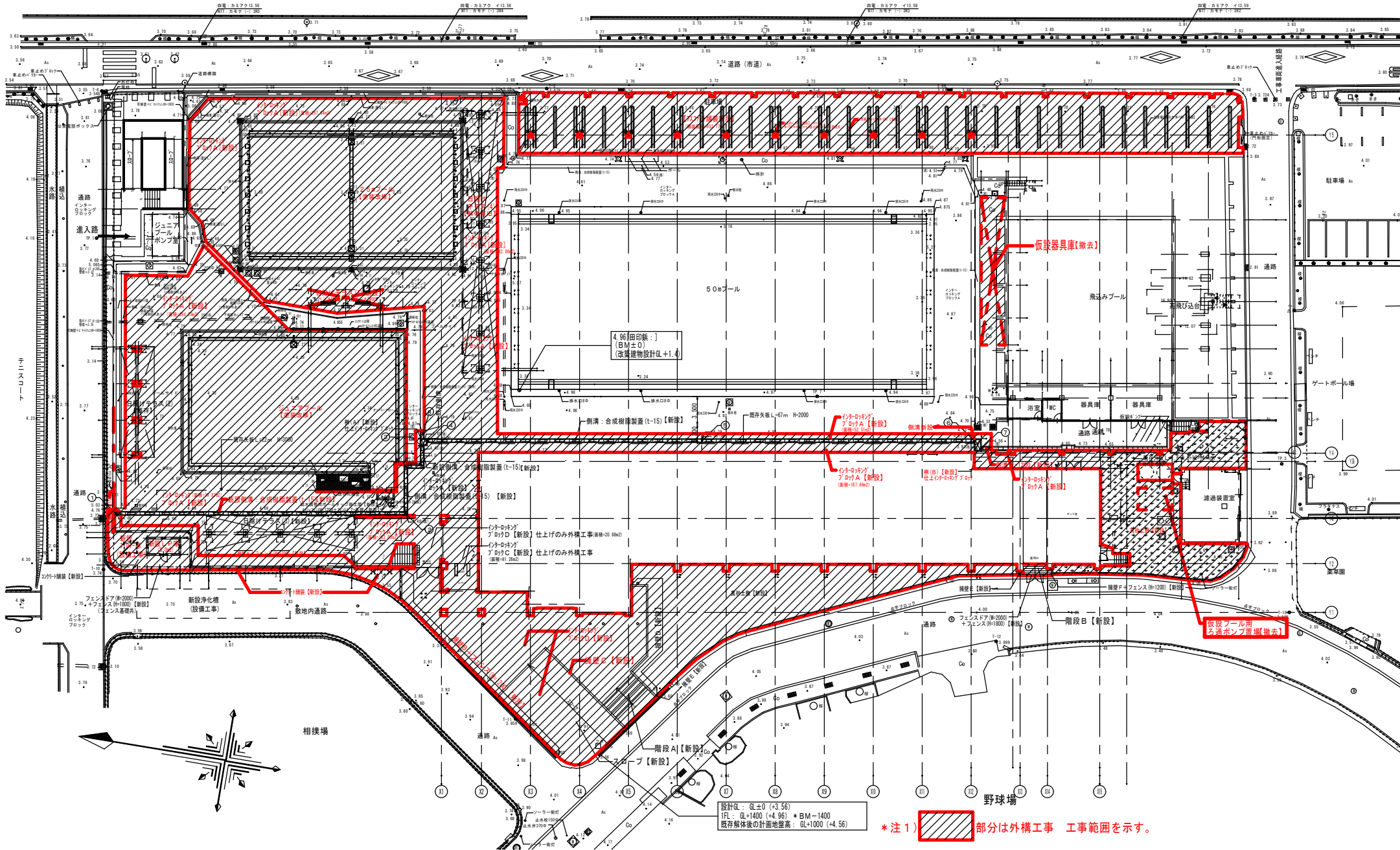
RC	RW
101	87

レール作用する面単重 (kN)

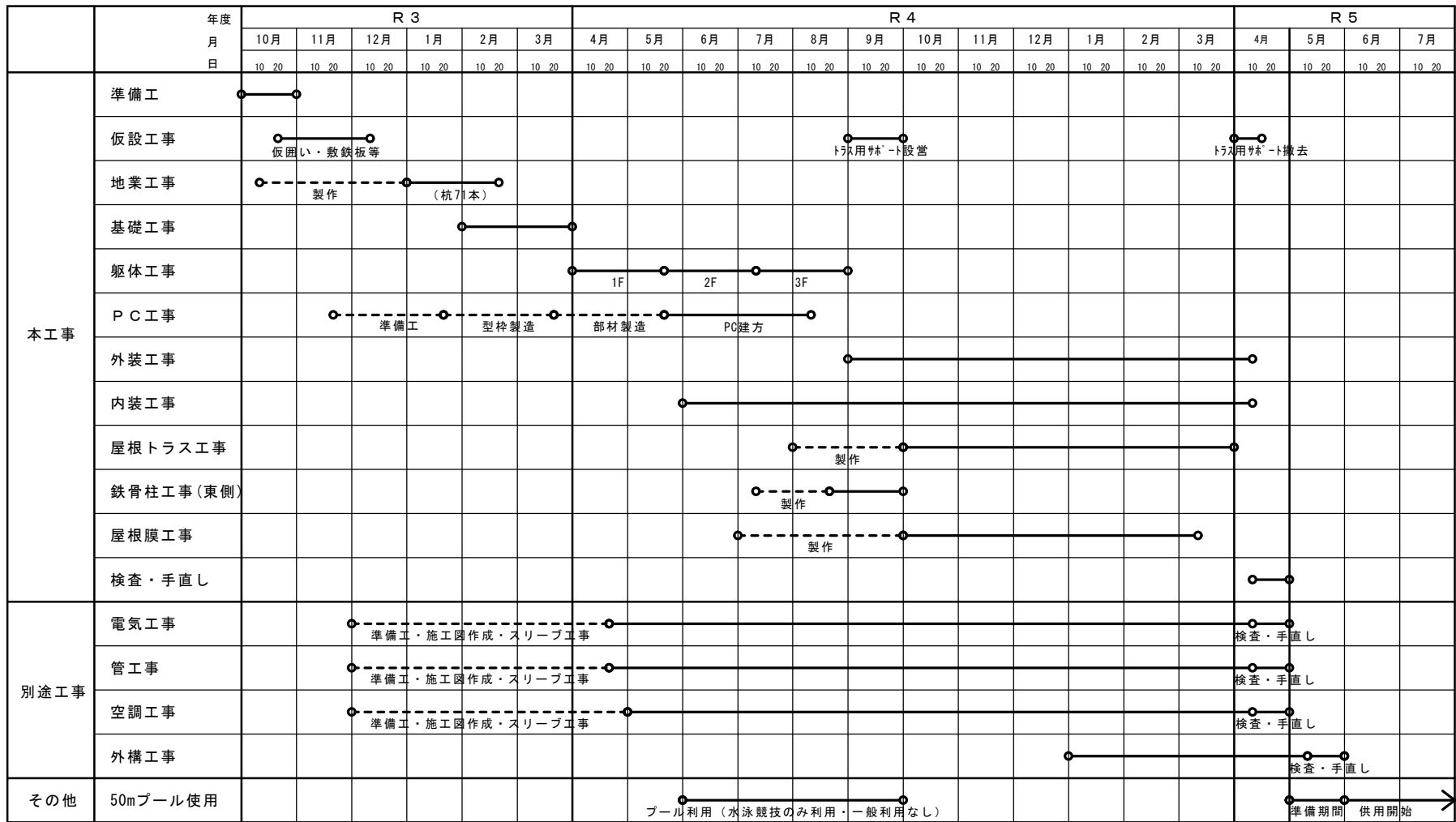
P y	P x	P y
かご	5.5	3.7
おもり	7.9	4

電源設備 (1台あたり) 【電気工事】		引込み量(引出)量	
記号	種別	線種等	
	3φ 3W AC 210V 60Hz		
	幹線サイズ(mm)	5.5 8 14	
	幹線こう長 (m)	41 58 102	
	電気変圧レール(A)	40	
	接地線 (m)	3.5	20F:100 350m
	電源設備容量 (kVA)	5	
	非常用電源設備容量 (kVA)	-	
	昇降機内圧入圧力容量 (kVA)	0.15	
	1φ 2W AC 100V 60Hz		20F:200
	照明用電源容量 (kVA)	1.0	20F:400 300m
	非常用電源設備容量 (kVA)	-	20F:400 300m
	ピッチャフ	AC100V 10A 1個	20F:200
	電気回路配管	別途打合せによる	20F:400 300m
	弱電用配線	別途打合せによる	20F:400 300m

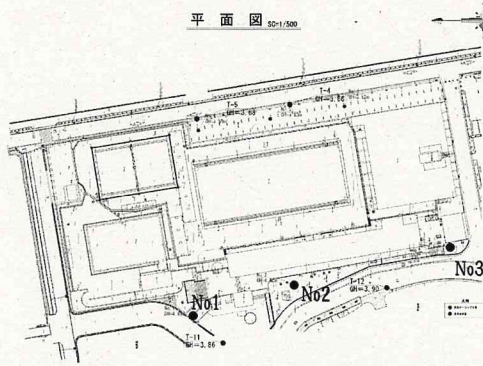
高層建対応
高層建対応電流と高層建対応の影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA (感度設定値100mA相当)の漏れ電流として設定して下さい。
2. 昇降機と同一電源回路を使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 昇降機の電源回路と弱電機器の電源回路を分離して下さい。
5. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線うえ、接地下さい。(接地抵抗値を教えてください)
6. 昇降機の昇降機や動力線の近くに「力」や「通信機器」の力を設置しないで下さい。



徳島県立整備部宮崎課	●工事名 徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事	●図面番号 A-101	株式会社 松村建築計画研究所 管理棟 松村 史朗
	●図面名 外構工事範囲図 (参考)	●縮尺 1/300	総務課 電話 1102020 PHONE (089) 686-6491



平面図 50:1/500

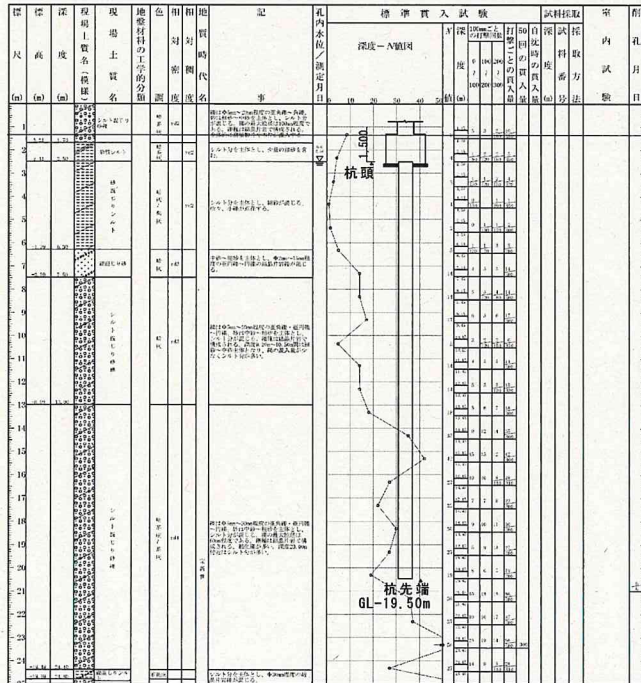


設計 GL = TP + 3.56 m

土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 第1工区 建築設計調査業務
調査名 委託者 工事名
調査目的及び調査対象 基礎 構造物基礎

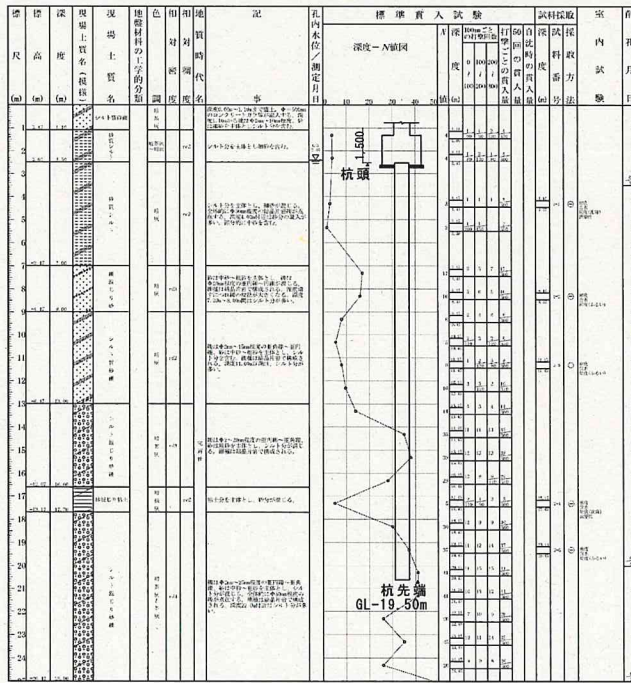
Table with borehole No.1 details: 調査位置 徳島市川内1丁目, 調査期間 2020年 6月 6日 ~ 2020年 6月 9日, 北緯 34° 4' 29.9333", 東経 137° 39' 52.4668".



土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 第1工区 建築設計調査業務
調査名 委託者 工事名
調査目的及び調査対象 基礎 構造物基礎

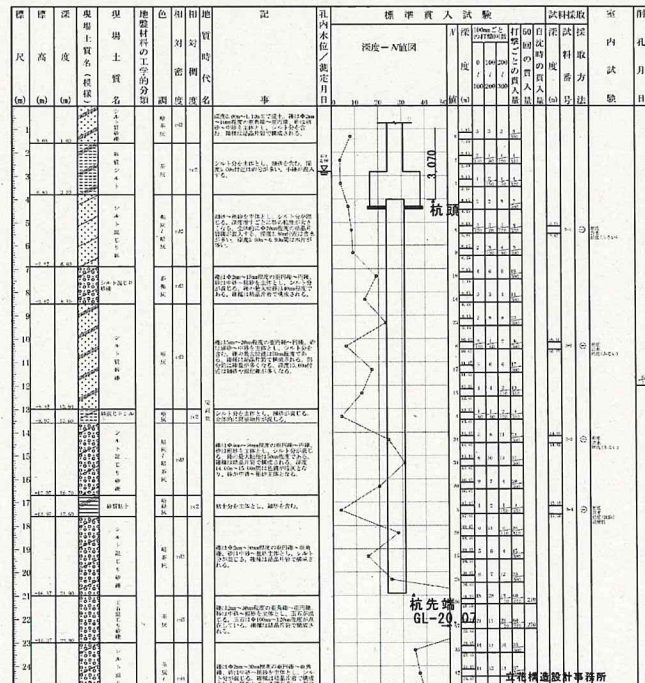
Table with borehole No.2 details: 調査位置 徳島市川内1丁目, 調査期間 2020年 6月 21日 ~ 2020年 6月 5日, 北緯 34° 4' 26.9033", 東経 137° 39' 52.8914".



土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 第1工区 建築設計調査業務
調査名 委託者 工事名
調査目的及び調査対象 基礎 構造物基礎

Table with borehole No.3 details: 調査位置 徳島市川内1丁目, 調査期間 2020年 6月 1日 ~ 2020年 6月 2日, 北緯 34° 4' 25.1200", 東経 137° 39' 53.3684".



JOB 徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事

TITLE ボーリング柱状図 1

SCALE 1:200

DATE

NO

S-01

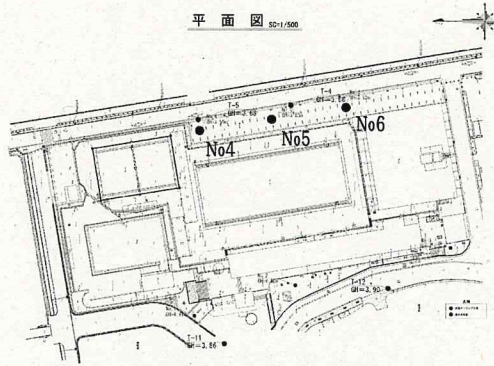


株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491

立花 薫

平面図 5D11/500

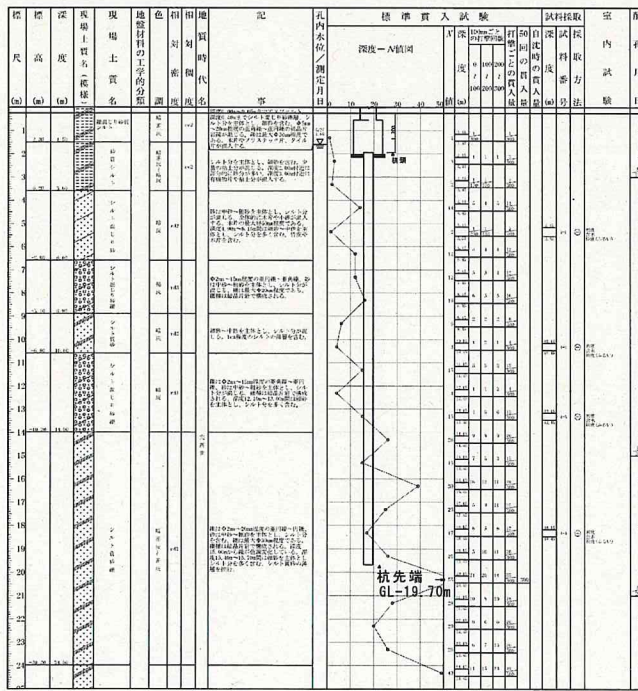


設計 GL = TP + 3.56 m

土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 樹・花壇 地質調査調査報告
事業名 委託社 工事名 地質調査報告書

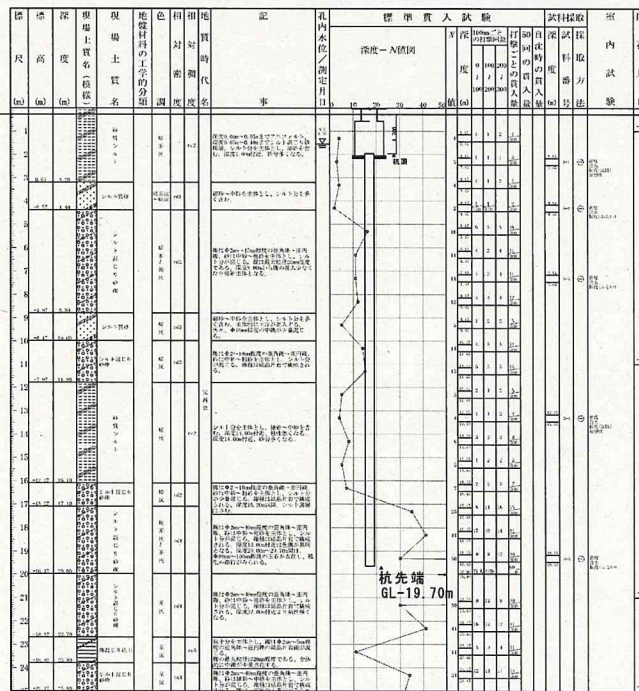
ボーリング番号	No. 4	調査位置	徳島市市町丁目
発注機関	徳島県土木建築部建設課	調査期間	2020年 6月 27日 ~ 2020年 6月 11日
調査業者名	株式会社マツムラ建設 (株) (0888-52-1541)	主任技師	植村 剛代 (No. 21276号)
取付深度	17.7m	調査者	西岡 真人 (No. 21276号)
取付口径	φ29.00m	取付機	東邦地下工機D-1
		ポンプ	東邦地下工機B-3型



土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 樹・花壇 地質調査調査報告
事業名 委託社 工事名 地質調査報告書

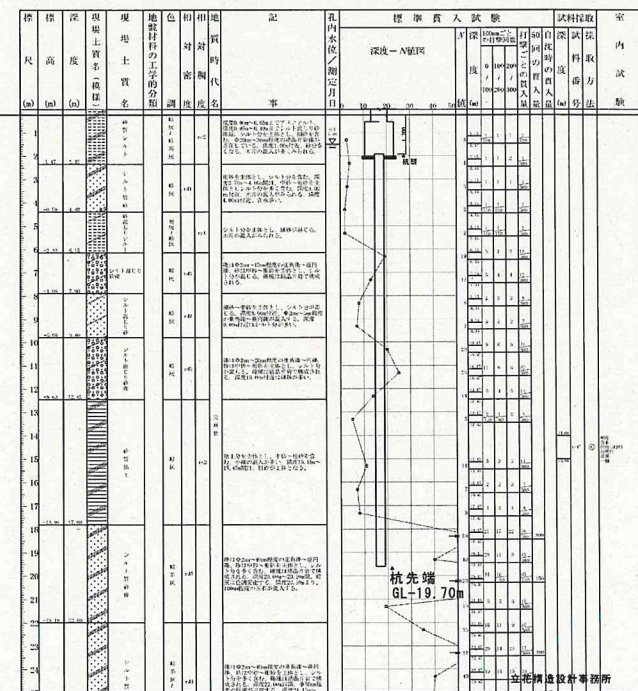
ボーリング番号	No. 5	調査位置	徳島市市町丁目
発注機関	徳島県土木建築部建設課	調査期間	2020年 6月 11日 ~ 2020年 6月 5日
調査業者名	株式会社マツムラ建設 (株) (0888-52-1541)	主任技師	植村 剛代 (No. 21276号)
取付深度	17.7m	調査者	西岡 真人 (No. 21276号)
取付口径	φ29.00m	取付機	東邦地下工機D-1
		ポンプ	東邦地下工機B-3型



土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 徳島県 蔵本公園 樹・花壇 地質調査調査報告
事業名 委託社 工事名 地質調査報告書

ボーリング番号	No. 6	調査位置	徳島市市町丁目
発注機関	徳島県土木建築部建設課	調査期間	2020年 6月 5日 ~ 2020年 6月 9日
調査業者名	株式会社マツムラ建設 (株) (0888-52-1541)	主任技師	植村 剛代 (No. 21276号)
取付深度	17.7m	調査者	西岡 真人 (No. 21276号)
取付口径	φ29.00m	取付機	東邦地下工機D-1
		ポンプ	東邦地下工機B-3型



JOB 徳島県蔵本公園 プールスタンド改築工事のうち建築工事

TITLE ボーリング柱状図 2

SCALE 1:200

DATE

NO

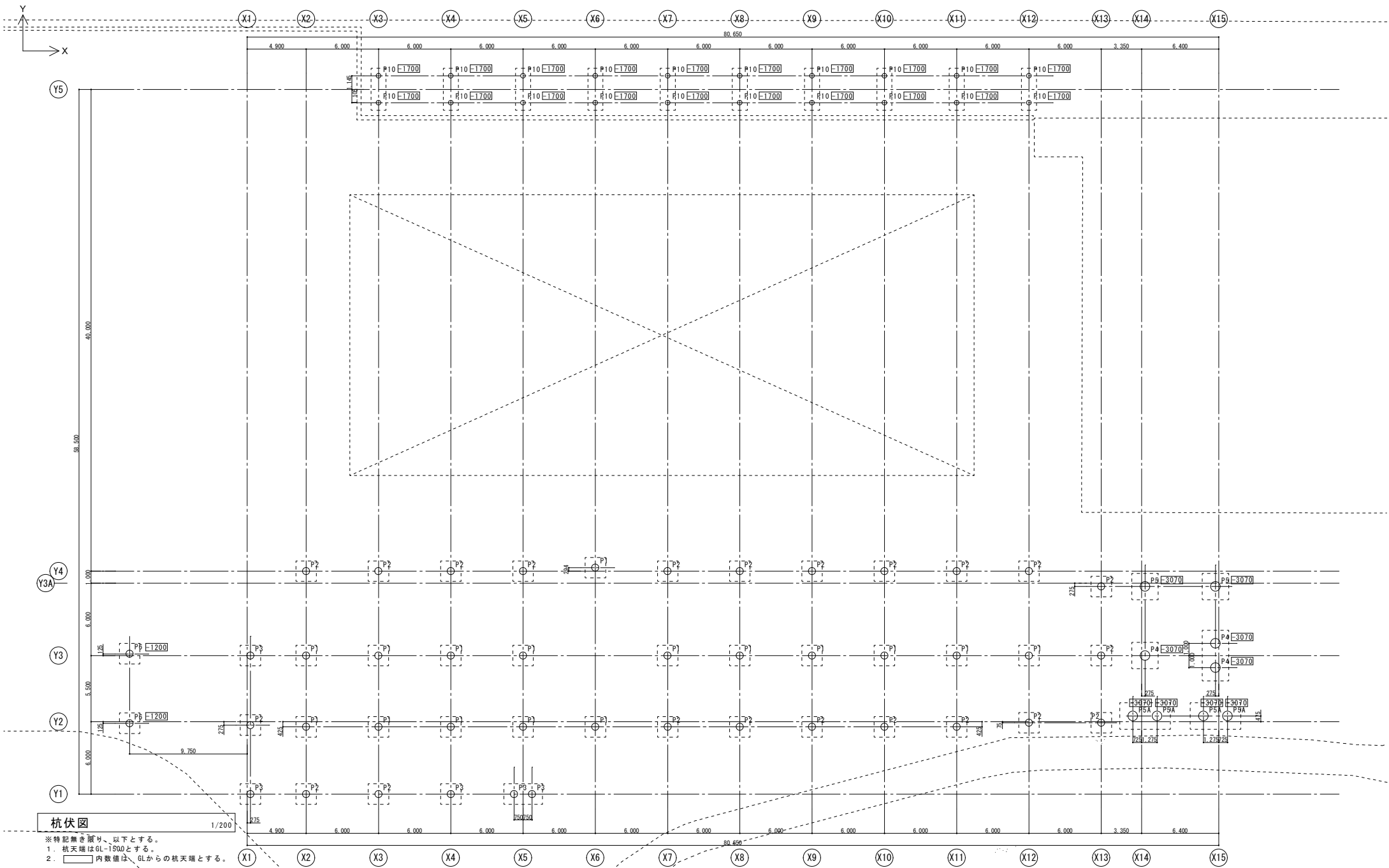
S-02



株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119282号
PHONE (088) 686-6491

松村 史朗



杭伏図 1/200

※特記無き限り、以下とする。
 1. 杭天端はGL-1500とする。
 2. 内数値は、GLからの杭天端とする。

JOB 徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事	NO S-03	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗	立花構造設計事務所 立花 薫
			1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491
TITLE 杭伏図	SCALE 1:200	DATE	